あーすフェスタかながわ２０１３実施報告書

みんなで育てる多文化共生

あーすフェスタかながわ２０１３実行委員会

■はじめに

神奈川県には、現在、約 160 の国と地域の 16 万人を超える外国籍の人々が暮らしており、互いに多様な価値観や文化を理解し尊重しながら、「共に生きる」ことのできる豊かな多文化共生社会を築いていくことが求められています。

私たちは、多文化共生社会の実現に向けて、さまざまな文化的背景を持つ多くの県民が集い、出会い、それぞれの文化や考え方をアピールするとともに、互いを理解するため、2000 年から毎年、「あーすフェスタかながわ」を開催してきました。

あーすフェスタかながわは、民族団体、NGO、市民グループ等で実行委員会を組織し、多様な国籍、文化を持つ実行委員、企画委員が話し合いを重ね、企画、準備をすすめて開催してきました。

プログラムは、「みんなで育てる多文化共生」をテーマに、民族芸能ステージ、外国籍県民フォーラム、屋台村、ワークショップ、展示企画など、それぞれ工夫を凝らしたものとなりました。

今回のフェスタを無事成功裏に終えることができ、開催に御協力いただいた皆様には心からお礼申し上げます。これからも、多文化共生社会の実現のために、皆さまと共に歩んでいきたいと思います。

あーすフェスタかながわ 2013 実行委員会

委員長　松森 繁（神奈川県　県民局長）

副委員長　金利中（在日本大韓民国民団神奈川県地方本部　団長）

李栄勲（在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部　委員長）

謝成發（横浜華僑総会　会長）

稲垣良一（公益財団法人かながわ国際交流財団　専務理事）

監事　櫻井弘子（特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会　会長）

丸谷士都子（特定非営利活動法人地球の木　理事長）

委員　尹日赫（あーすネットかながわ　代表）

神山武（公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部　本部長）

大倉一郎（外国人学校ネットワークかながわ代表）

ﾄﾙｵﾝ ﾃｨ ﾄｩｲ ﾁｬﾝ（かながわベトナム親善協会）

長瀬永輝（クメールボランティア協会　会長）

北中真人（独立行政法人国際協力機構横浜国際センター　所長）

田中房一（小菅ヶ谷連合町内会自治会　会長）

沢井律（特定非営利活動法人在日カンボジアコミュニティ　理事長）

久永広喜（特定非営利活動法人在日本ラオス協会　理事長）

風間聰彦（栄区文化協会　会長）

安部普弘（公益社団法人青年海外協力協会総務・事業部あーすぷらざ課長）

（神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）館長）

中村ノーマン（多文化活動連絡協議会　代表）

遠藤美彦（横浜市栄区民文化センター（リリス）　館長）

松元公良（横浜市栄区役所総務部　地域振興課長）

天城直政（神奈川県県民局くらし県民部　国際課長）

三國隆志（神奈川県立国際言語文化アカデミア　所長）

事務局長　佐藤達也（神奈川県県民局くらし県民部国際課副課長）

以上 24 名（2013 年 5 月 12 日現在）

目次

○ あーすフェスタかながわ２０１３

１．実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．実施内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

３．外国籍県民フォーラムの記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９

４．来場者アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９

５．企画委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

６．開催経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１

７．収支報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８

８．あーすフェスタかながわテーマソング・・・・・・・・・・・・・・・５９

１　実施概要

●テーマ

みんなで育てる多文化共生

●趣旨

神奈川県には、現在、約 160 の国と地域の 16 万人を越える外国籍の人々が暮らしており、互いに多様な価値観や文化を理解し尊重しながら、「共に生きる」ことのできる豊かな多文化共生社会を築いていくことが求められています。

あーすフェスタかながわ 2013 は、多文化共生社会の実現に向けて、さまざまな文化的背景を持つ多くの県民が集い、出会い、それぞれの文化や考え方をアピールすると共に、互いを理解する機会を作るため、県内の民族団体、NGO、市民ボランティア等が企画段階から共に力を合わせ開催したものです。

●日時

2013（平成 25）年５月 11 日（土）、12 日（日）

●会場

あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ）
リリス（横浜市栄区民文化センター）

●入場者数

約 19,000 人

●主催

あーすフェスタかながわ 2013 実行委員会

（構成団体）

あーすネットかながわ
外国人学校ネットワークかながわ
神奈川県立国際言語文化アカデミア
公益財団法人かながわ国際交流財団
かながわベトナム親善協会
独立行政法人国際協力機構横浜国際センター
ＮＰＯ法人在日カンボジアコミュニティ
在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部
栄区文化協会
多文化活動連絡協議会
横浜華僑総会
横浜市栄区役所
公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部
神奈川県
神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぷらざ）
ＮＰＯ法人かながわ難民定住援助協会
クメールボランティア協会
小菅ヶ谷連合町内会自治会
在日本大韓民国民団神奈川県地方本部
ＮＰＯ法人在日本ラオス協会
公益社団法人青年海外協力協会
ＮＰＯ法人地球の木
横浜市栄区民文化センター（リリス）

（以上 23 団体(50 音順)　平成 25 年 5 月 12 日時点）

●後援

外務省
中華人民共和国駐日本国大使館
駐横浜大韓民国総領事館
神奈川県日本中国友好協会
神奈川県日韓親善協会連合会
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
横浜市政策局
川崎市
相模原市
神奈川県教育委員会
横浜市教育委員会
川崎市教育委員会
相模原市教育委員会
公益財団法人横浜市国際交流協会
公益財団法人川崎市国際交流協会
相模原市国際化推進委員会
神奈川新聞社
ＮＨＫ横浜放送局
ｔｖｋ(テレビ神奈川)
ＦＭヨコハマ
神奈川県商工会議所連合会
神奈川県商工会連合会
日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横浜商工会議所
財団法人自治体国際化協会
独立行政法人国際交流基金

（以上 26 団体（順不同））

●協賛

株式会社アート
アーニー
朝日オフセット印刷株式会社
飛鳥学院
株式会社石川商事
いずみ野皮ふ科
一楽
有限会社えのき商会
株式会社エムエスエヌ
公益社団法人神奈川県医師会
公益社団法人神奈川県看護協会
一般社団法人神奈川県建設業協会
一般社団法人神奈川県歯科医師会
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
神奈川県生活協同組合連合会
神奈川県日韓親善協会
公益社団法人神奈川県病院協会
公益社団法人神奈川県薬剤師会
学校法人神奈川大学
株式会社金港美装
金香楼
在日本大韓民国民団神奈川県地方本部
在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部
株式会社佐藤印刷所
株式会社産業貿易センター
株式会社三光ビルサービス社
株式会社ジェー・エス・エス
謝甜記
生活クラブ生活協同組合
大珍楼
中華會舘
中華街停車場
有限会社鳥鎌商店
株式会社二十一国際旅行社
日本労働組合総連合会神奈川県連合会
ネパリ・バザーロ
ノムラテクノ株式会社
株式会社ファーストビデオ
株式会社ＶＳＯＣ
藤木企業株式会社
三菱重工メカトロシステムズ株式会社
株式会社民建
株式会社メルヘン
横浜華聯旅行社
横浜商工会議所
横浜中華学校校友会国術団
株式会社横溝工務店
龍江飯店・金龍飯店

（以上 48 企業・団体（50 音順））

２　実施内容

あーすフェスタかながわ 2013 の 2 日間にわたる模様を、プログラムごとに紹介します。

１　ステージ・フォーラム

円形のひろば（アトリウム）と左右にある２つのホールでは、今回のフェスタのメッセージを伝えるオープニング･イベント、民族音楽や民族舞踊の華麗なステージ、複数の国籍、幅広い年代のパネラーと共に、人とのつながりや多文化共生社会を考えるフォーラムなど、盛りだくさんのプログラムが繰り広げられました。ステージでは、中国、韓国・朝鮮、マリ（アフリカ）、ブラジルなどの民族舞踊や民族音楽を通して、それぞれの地域の特色や文化の多様性がアピールされました。最後のフィナーレでは、あーすフェスタならではの様々な民族楽器・舞踊によるセッションとともに、多言語に翻訳されたあーすフェスタテーマソングを披露して、盛況のうちに幕を閉じました。

（１）開会式（11 日（土）　10：30～11：10　アトリウム　参加者：約 200 人）

県立柏陽高校の吹奏楽部による演奏を交えながら、実行委員長の開会宣言、来賓の紹介などを行いました。

（２）外国籍県民フォーラム

「いっしょに話そう！これからのかながわ！　～わたしにとっての多文化共生～
１hour session×２＋ステージ」

（11 日（土）　13：30～16：30　プラザホール　参加者：約 190 人）

宮田祐磨(日本)、金理恵(コリア)、高山由美(ペルー)、徳橋功(日本)、高橋メラニー(フィリピン)、Benjamin Brown(オーストラリア) が発表し、８つのテーブルに分かれた参加者 40 名を交え、共に考え、話し合いました。セッションの合間に、横浜右道農楽が朝鮮半島の伝統芸能を披露しました。総合司会：徳野早苗(日本)、進行役：河内智之(日本)、挨拶：劉功義（中国)。

（３）学習会「多文化共生を考える～外国籍県民かながわ会議の提言を知り、あーすフェスタへ行こう」
(プレイベント　４月７日（日）　13：30～17：00　桜美林大学 PFC　参加者：39 人)

外国籍県民かながわ会議が出したこれまでの提言について、宮島喬（かながわ国際政策推進懇話会会長)、張恵珠（第 7 期外国籍県民かながわ会議委員)、岩根美智枝（第 7 期外国籍県民かながわ会議委員)、高橋メラニー（第 8 期外国籍県民かながわ会議委員）と共にふりかえり、学習した後、交流の場を持ちました。

(プレイベント　４月 14 日（日）　15：00～17：30　川崎市国際交流センター　参加者：30 人)

外国籍県民かながわ会議が出したこれまでの提言について、裵安（かながわ外国人すまいサポートセンター理事長)、孔連順（第 7 期外国籍県民かながわ会議副委員長)、小倉ノエミ（第 7 期外国籍県民かながわ会議委員)、中村ノーマン（第 8 期外国籍県民かながわ会議副委員長）と共にふりかえり、学習した後、交流の場を持ちました。

（４）多言語絵本を楽しもう
(プレイベント　４月 20 日（土）　13：00～14：00　映像ホール　参加者：66 人)

いろいろな国の言葉と日本語で絵本を読み、子どもと一緒に楽しみました。『わにさんどきっ はいしゃさんどきっ』朴勇俊(コリア）＆森田裕子（日本)、『スイミー』栗田モニカ(ペルー）＆金子恵美子（日本)、『はらぺこあおむし』『３びきのこぶた』Benjamin Brown（オーストラリア）＆劉功義（中国)、『ぐりとぐら』立花鳳絹(中国）＆加藤佳代（日本)。司会：徳野早苗（日本)。

（５）大好きなわたしの学校・わたしの教室～外国につながるこどもたちの教室紹介～
(展示　11 日・12 日　終日　アトリウム　)
(発表　12 日（日）　11：00～12：00　映像ホール　参加者：96 人)

神奈川県内の外国人学校と母語教室に参加している子どもたちが作成した紹介ポスターを展示しました。また 12 日には４校の子ども達が日本語で発表を行い、学校の特色や自慢できるところを紹介しました。

【参加団体：(展示)-横浜朝鮮初級学校、川崎朝鮮初級学校、南武朝鮮初級学校、横浜山手中華学校、エスコーラ・アクアレラ・ブラジル、ホライゾン・ジャパン・インターナショナル・スクール、ブリティッシュ・インターナショナル・スクール、信愛塾、ラテンアメリカ青少年の会、すたんどばいみー　計 10 校

(発表)-エスコーラ・アクアレラ・ブラジル、神奈川朝鮮中高級学校、横浜山手中華学校、
ブリティッシュ・インターナショナル・スクール　計４校　】

（６）アコースティックステージ
（11 日(土) 13：30～15：10　リリスホール　参加者：約 150 人）
　民族音楽や踊りをじっくり味わいながら違いや文化を楽しむステージ。韓国・朝鮮のカヤグムと、日本の琴の比較も行いました。
【出演：神奈川朝鮮中高級学校 民族管弦楽部(朝鮮音楽)、エソダ・バスネット(ネパールダンス)、栄区三曲協会（琴)、アリソン・オパオン（フィリピン音楽)、アンデス音楽グループ MACHUPICCHU（アンデス音楽)】

（７）親子でわくわくステージ
（12 日(日) 12：00～13：15　リリスホール　参加者：約 150 人）
　当日は、インドネシアのケチャ、影絵の 2 演目を実施しました。来場者は主に親子連れ、ファミリー層。積極的にステージにあがり、ケチャへ参加したり、影絵を寝そべってみたり、子どもたちの笑顔であふれるステージになりました。
【出演：バスンダリ、スミリール】

（８）みんなでわいわいステージ～見ているだけじゃつまらない～

（12 日（日）14：00～16：35　プラザホール　参加者：約 800 人）

観客が、出演団体と“一緒に参加している気持ちになるようなステージ”をテーマに、華やかな演奏やダンス、様々なワークショップも行いました。

【出演：相州海老名東柏太鼓（和太鼓）、バスンダリ（バリ舞踊）、アバダカポエィラ（ブラジル格闘技）、神奈川朝鮮中高級学校 民族舞踊部（朝鮮舞踊）、Duo P O De Queijo【ドゥオ ポンティ ケイジョウ】（サンバ）、NPO民団国際協力センター（サムルノリ）、Kaladjoula Sangoi【カラジュラ サンゴイ】（ジャンベ）、横浜中華学校校友会国術団（中国獅子舞）】

（９）フィナーレ

（12 日（日）　16：35～17：00　プラザホール）

シンガーソングライターtomoko さんによる、あーすフェスタテーマソングを中心とした「わいわいステージ～見ているだけじゃつまらない～」全出演団体のセッションと、各部会代表者の多言語でのテーマソングの披露を行いました。

【出演：tomoko（あーすフェスタテーマソング演奏・歌）、相州海老名東柏太鼓（和太鼓）、バスンダリ（バリ舞踊）、アバダカポエィラ（ブラジル格闘技）、神奈川朝鮮中高級学校 民族舞踊部（朝鮮舞踊）、Duo P O De Queijo【ドゥオ ポンティ ケイジョウ】（サンバ）、NPO民団国際協力センター（サムルノリ）、Kaladjoula Sangoi【カラジュラ サンゴイ】（ジャンベ）、横浜中華学校校友会国術団（中国獅子舞）】

2　ワークショッププログラム

国籍･文化の違いを超えて、共に「遊ぶ」「飲む」「聞く」「踊る」「作る」ことで、「多文化共生」の楽しさを感じることを目的に、子どもから大人まで気軽に体験できる参加型ワークショップを実施しました。

（1）せかいのこうさく～いろんなものを作ってみよう

（11 日(土)、12 日(日)13：00～16：00　ワークショップルーム　参加者： 113 人、自由参加 419 人）

【講師：小泉（こいずみ）　真由美（まゆみ）（台湾)、エスコーラ・アクアレラ・ブラジル】

11 日には中国結びの「トンボ」作り、12 日にはブラジルのピエロのおもちゃ作り、楽器作りと、ブラジルの遊び「ヴァイ・ヴェー」の紹介を行いました。中国結びはやや難しかったが、大人も子どもも楽しく挑戦し、きれいなトンボができました。ブラジルのおもちゃはそれぞれ絵やシールできれいに飾り楽しく遊べました。

その他、両日で中国のパンダの切り絵や、世界の家のペーパークラフトを置き、自由に作って楽める場を設けました。

（2）せかいのあそびば

（11 日（土）　11：00～16：00　12 日（日）　10：00～16：00　大・中会議室　参加者：1631 人）

外国につながりを持つ子どもたちが講師になり、世界のさまざまな遊びを来場者に体験してもらうコーナーを実施しました。今回は「違いを楽しむ」をテーマに、国によって使う道具や形、素材が異なる等、同じ遊びの中にある「違い」を紹介しながら来場者と一緒に「遊び」を楽しみました。

【協力：共学舎（きょうがくしゃ）、ヨコハマハギハッキョ、横浜市立富士見中学国際教室（よこはましりつふじみちゅうがくこくさいきょうしつ）、横浜市立横浜総合高校（よこはましりつよこはまそうごうこうこう）、県立相模原青陵高校多文化交流部（けんりつさがみはらせいりょうこうこうたぶんかこうりゅうぶ）、県立横浜清陵高校（けんりつよこはませいりょうこうこう）、県立横浜翠嵐高校（けんりつよこはますいらんこうこう）、横浜市立港中学国際教室（よこはましりつみなとちゅうがくこくさいきょうしつ）、たぶんかﾌﾘｰｽｸｰﾙよこはま、桜美林大学草の根国際理解教育支援プロジェクト（おうびりんだいがくくさねこくさいりかいきょういくしえん）、神奈川朝鮮中高級学校（かながわちょうせんちゅうこうきゅうがっこう）】

遊びの種類

①テーブルゲーム
- すごろく：ユンノリ、へびとはしご
- マンカラ：マンカラ、スンカ、アフリカのゲーム

②手軽ゲーム（日常であるものを道具にする）
- 将棋崩し
- タイの輪ゴムゲーム

③コマ：世界のコマ（手で回す)、紐に引っ掛けて遊ぶこまコンズー
④蹴って遊ぶ：チェギチャギ、チェンズ
⑤音楽に合わせて飛ぶはねるゲーム：バンブーダンス
⑥ぬりえ（お持ち帰り可能）：世界遺産や民族衣装のぬりえテーブルゲーム

（３）せかいのわらべうた（こどものあそび歌）

（11 日（土）11：30～11：45、13：00～13：15、14：00～14：15、15：00～15：15
保育室 参加者：124 人）

【講師：親子日本語教室等受講者のみなさん】

インド、インドネシア、タイ、中国、フィリピンの親子を講師に迎え、それぞれの国の手遊び歌、数え歌、わらべ歌などを教えてもらいながら、参加者と一緒に楽しみ、交流しました。

（４）せかいのおちゃ

（12 日（日）11：00～15：00　研修室Ａ　参加費 200 円（１種類）　参加者：230 人）

【講師：栄区文化協会国際交流(日本茶)、ともしびカフェ　ポエム’10(中国茶)、座間総合高校国際科(マテ茶)】

世界の国々で楽しまれている「お茶」と、お茶にあうお菓子の紹介を行いました。参加者にはお茶を飲みながら、ゆっくり講師とお話してもらうことで、その国の文化だけでなく、かながわに暮らす外国につながる人たちのことも知ってもらうことができました。

（５）せかいのスパイス

（12 日（日）11：00～15：00　研修室Ｂ　参加費 200 円　参加者：120 人）

【講師：ケー・シー・ディネス　】

スパイスの種類や効用、カレーについての豆知識を紹介しました。また、実際に石臼を使い様々なスパイスを混ぜ、潰し、オリジナルカレースパイス作りを体験しました。

（６）せかいの音と踊り

（11 日（土）、12 日（日）　創作スタジオ、参加者：169 人）

①チャンゴの響き　11 日（土）11：00～12：00　参加者 37 人

【講師：NPO農楽教室】

韓国の民族楽器である「チャンゴ」の体験を実施した。最後は子どもから大人まで、全員で演奏し盛り上がりました。

②ジャンベ　11 日（土）15：30～16：30　参加者 42 人（2 回実施）

【講師：ダラマン・ジャバテ、ミネコ・ジャバテ】

西アフリカの太鼓、ジャンベの体験をマリ出身のダラマンさんを講師に招いて実施しました。

③カポエィラ　12 日（日）11：00～11：45　参加者 25 人

【講師：アバダ・カポエィラ・神奈川支部　】

ブラジルのカポエィラを、ビリンバウと太鼓の生演奏をバックに体験しました。

④せかいにニーハオ！みんなで腰鼓をやってみよう　12 日（日）13：00～14：00　参加者 45 人

【講師：いきいきニーハオの会】

いきいきニーハオの会を講師に迎え、腰鼓の体験を行いました。腰鼓を身につけて叩き方やリズムを練習した後、輪になって動きながら叩きました。扇子を使った踊りも加わり大変盛り上がりました。

⑤癒しのバリ舞踊　12 日（日）15：00～15：45　参加者 20 人（2 回実施）

【講師：バスンダリ　】

バリ舞踊の基本の動きや、目の動きなどを講師に教えてもらいながら体験したあと、全員で曲に合わせて踊りを楽しみました。

3　交流・展示プログラム

（11 日(土)、12 日(日)　終日　リリスギャラリー・リリス会議室　）

「リリスギャラリー」「リリス会議室」では、神奈川県と友好都市の紹介、アフリカに関する展示、世界各国の様々な楽器や凧の展示などを通して、世界と神奈川とのつながりや、色々な民族や文化を知ることができる企画を実施しました。

（1）ワンダフルアフリカ

アフリカ各地の風景、人物、動物などアフリカの大地とそこに暮らす人たちの生活風景を写真にて展示、紹介しました。

（2）神奈川県と友好都市の紹介

神奈川県と 8 つの姉妹都市の交流地域について、パネルを使って紹介しました。また今年は神奈川県と遼寧省友好提携 30 周年、横浜上海友好都市提携 40 周年を迎える年で、当時の様子を写真で紹介しました。

（3）天まであがれ！世界のたこ

ヨーロッパの立体凧や日本の江戸凧など、世界各国のオリジナリティあふれる凧を展示。大空に舞う姿を想像できるよう展示に工夫しました。

（4）民族楽器に触れてみよう

世界のいろいろな民族が、自らの気持ちを表現してきた楽器を展示。普段見慣れない楽器に来場者が実際に触れられるように展示しました。

（5）民族衣装を着て撮影会

独自の文化と伝統がある中国 56 の少数民族の民族衣装を展示。また来場者に世界各国の民族衣装を実際に試着して貰い、用意したパネルの前で記念撮影をしました。

（6）世界一周の船旅

映像とバックグラウンドミュージックで世界の情景を紹介しました。

（7）世界の絵はがき

世界 5 大陸の風景、人物、建物などたがいの共感と多文化共生の視点で広い世界を感じて貰えるよう展示しました。

【JICA 横浜・神奈川県国際課　合同特別企画】

（８）アフリカを身近に感じよう！～もうすぐ TICAD Ⅴ（第５回アフリカ開発会議）～

６月の TICAD Ⅴの横浜開催に伴い、アフリカの子どもたちが描いた絵画や、風景の写真、アフリカで活動する専門家、青年海外協力隊、シニア海外ボランティアの活動写真を展示しました。

（９）カナガワから世界へ！世界からカナガワへ！

神奈川県と世界のつながりについて、JICA 横浜と神奈川県の事業の一部を紹介しました。また、子ども向けの国際協力 DVD「世界は、キミにつながっている。」を上映しました。

４　シネマコレクション

多方面で製作された多文化共生を啓発する映像作品を上映し、多文化共生を考える機会としました。

（１）シネマコレクション おすすめの一本（プレイベント）

（プレイベント　４月 20 日（土）　14：30～15：50　映像ホール　参加者：40 人）

外国にルーツのある５人の方達が、おすすめ作品を紹介し、自分の国や自身の事を語りそれぞれの考える多文化共生について発表しました。その中から、会場の方に挙手で１本の作品を選んで頂き「おじいさんと草原の小学校」に決まりました。

推薦者/国と映画：①ベンジャミン・ブラウン　{オーストラリア}　『オーストラリア』

②栗田（くりた）モニカ　{ペルー}　『ブラット＆ローズ』

③朴載守（ぱくちぇす）　{韓国･朝鮮}　『ハッキョ』

④ンディ リチャード バンセカ　{カメルーン}　『おじいさんと草原の小学校』

⑤立花鳳絹（たちばなほうけん）　{中国}　『トロッコ』

（2）シネマコレクション　おすすめの一本
（11 日（土）　11：00～12：45　映像ホール　参加者：61 人）
【上映作品】『おじいさんと草原の小学校』

（3）シネマコレクション　映画『トロッコ』＆川口浩史（かわぐちひろふみ）監督によるトーク
（12 日（日）　13：30～16：00　映像ホール　参加者：145 人）

5　屋外プログラム
世界各国の珍しい民芸品の販売や国際協力に取り組む NGO の活動紹介などの「ワールド・バザール」のブースの出展、あーすフェスタ恒例のおいしい民族料理のお店がずらりと並ぶ「世界屋台村」、池の中央のアイランドステージでは、音楽、ダンス、民族衣装のファッションショーなど、会場全体を使ってフェスタを盛り上げました。

（1）クイズラリー
（11 日（土）、12 日（日）　11：00～15：30　アトリウム 他　）
会場内に設置されたポイントをまわってクイズに答える企画です。イベントを考えた人たちがクイズを考えました。そして今年の景品はグレードアップ！　ＮＰＯ法人地球の木さん、ＨＡＹＡ－ＨＡＹさん、ネパリ・バザーロさんが提供して素敵な景品を提供していただきました。たくさんの子どもたちがクイズラリーでいっぱいいろんなことを学んでくれました。

（2）大道芸
（11 日（土）、12 日（日）　11：00～15：30　アプローチデッキ 他　）
バルーンアート、テーブルマジックなどが行われ、子どもたちに人気でした。塩尻さんはあーすフェスタかながわではなくてはならないバルーンアーティスト！横浜市立みなと総合高校のバルーンガールズと共にたくさんの子どもたちを笑顔にしました。そして、あーすフェスタ初、立教大学ボランティアサークル「どりぃむ・ぼっくす」が応援にかけつけてくれました。

（３）民族衣装ファッションショー

（11 日（土）11：00～13：30　開会式・アイランドステージ・プラザホール　）

県立横浜国際高校の学生ボランティアに協力していただき実施しました。事前の衣装合わせに始まり、当日はアイランドステージのほか、開会式やプラザホールでのイベントにも参加しました。衣装を通して、民族のルーツに興味を持って参加できるフェスタの定番企画になりました。

（４）アイランドステージ

（11 日（土）、12 日（日）　11：00～16：00　アイランド・ステージ　）

※11 日は雨天のため、ラウンジで実施

屋外でのアットホームなステージです。食べながら、飲みながら、伝統芸能からダンス、HIP HOP など様々なアーティストのステージを楽しんでいました。また、学生による民族衣装ファッションショーも好評でした。

【司会　MC BETO（TENSAIS MC'S リーダー、本名 Roberto Gilberto Alberto)】

【出演：セレステ（南アンデス民族音楽)、アロハマーメイド（フラダンス)、国際アラビアンダンスラズベリーチーム（ベリーダンス)、インドネシア人家族の会（西ジャワの民族音楽)、小田原ディジュミー（アボリジニー民族音楽)、メレラニ（ハワイアン)、スミリール（ジャワ島舞踊)、田中兆洋（ギター演奏)、バスンダリ（バリ舞踊)、ＮＰＯ民団国際協力センター（サムルノリ)、ICE INTERNATIONAL（HIP HOP パフォーマンス)】

（５）本郷台駅前広場

（12 日（日）　11：00～16：00　本郷台駅前広場　）※11 日は雨天のため中止

栄区との協働により、本郷台駅前にて新たにイベントスペースを設置しました。本郷台駅前にテントを出してチラシ配布などの広報や、「ストリートパフォーマンス」を実施しました。

【出演：小田原ディジュミー（アボリジニー民族音楽)、バスンダリ（バリ舞踊)、いきいきニーハオの会（太極拳)、アバダ・カポエイラ神奈川支部（ブラジル舞踊)、立教大学ボランティアサークル「どりぃむ・ぼっくす」（大道芸)】

（６）世界屋台村（11 日（土）、12 日（日）11:00～16:00、池の周辺）

27 店の出店があり、世界各地のエスニック料理を多くの人が楽しみました。今年も、環境に配慮したリサイクル容器を利用しました。

○リサイクル協力　社会福祉法人　同愛会、セルプ＆リサイクルセンタ「リプラス」

	店名	主なメニュー
1	株式会社　タヒチプロモーション	○タヒチアンパニーニ ○タヒチアン甘いパニーニ ○タヒチアン　ガーリックシュリンプ ○タヒチアンカレー○ＨＩＮＡＮＯビール
2	チニーズ	○ベルプリ○ラッシー○チャイ ○スパイス類○インド食材
3	大船チャンプル	○沖縄そば○スパム串○カレー ○オリオンビール○泡盛○さんぴん茶 ○ルートビア○ラムネ
4	ブラジル移民支援グループイン 神奈川	○ブラジルパステル○ブラジルコロッケ ○ブラジルソーセージ○ブラジルドリンク ○チュロス○串焼き
5	JUMPA（ジュンパ）横浜 NPO国際交流会	○ナシゴレン○ミゴレン○サテ・アヤム ○フルーツティー
6	株式会社　メルヘン	○焼きそば○クレープ（アメリカンタイプ） ○フライドチキン○フライドポテト ○生ビール
7	本場ペルシャ料理　クーチェ	○シシカバブ○ジュジェカバブ ○カバブバレ○飲物
8	ラテン文化センター	○パエリア○カルツォーネ○チュロス ○チョリソ○ビール○缶ジュース ○サングリア
9	横浜コンスタンツァ友好委員会	○ワイン（ルーマニア直輸入ワイン） ボトル販売及びグラスワイン
10	かながわベトナム親善協会	○ベトナム揚げ春巻き ○ベトナム米うどん（フォー）
11	特定非営利活動法人 地球市民ACT かながわ/TPAK	○タイラーメン

12	特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ	○台湾魯肉飯○タピオカミルクティー ○タイのえびせんべい○チェプチェロール○フィリピン揚げバナナ
13	特定非営利活動法人 地球の木	○海鮮ちぢみ
14	在日韓国青年会	○韓国のドリンク○カルビヤチェポックム
15	特定非営利活動法人 ASIAN PEOPLE'S FRIENDSHIP SOCIETY	○チキンココナッツ　トルカリ○ビール ○シシケバブ○タンドリーチキン ○シンガラ○パコラ○ラッシー○チャイ
16	クントゥル　ラテンアメリカ カルチャー　プラン	○タコス○ビーフタコス○チョリソ ○ブリート○アンティクーチョ
17	アジア料理の会	○タイカレー○ガパオガイ○生ビール ○タンドリーチキン○ドライビーフカレー ○トートマンプラ○シンガラ（サモサ）
18	クメールボランティア協会	○カンボジアのラーメン○串焼肉 ○焼きトウモロコシ○ココナッツジュース ○カンボジア風のオムレツ ○カンボジア「アンコールビール」
19	エスクエラ・デ・エスパニョール	○チョリソ○チキンソテー○ビーフソテー ○タマレス○エンパナダ
20	在日本朝鮮青年同盟 湘南西湘支部	○牛すじスープ○ビビン丼○チジミ ○マッコリ
21	RYUTA-COS KITCHEN リュウタコスキッチン	○ファフィータ○メキシカンバーベキュー ○チリコンカン○コロナビール○ご飯
22	在日本ラオス協会	○ラオスの「揚げ春巻き」 ○クワミー（ラオスの「やきそば」） ○カオプーン（ラオスそうめん） ○「ビアラオ」（ラオスのビール） ○ココナッツジュース
23	インドネシア人家族の会	○ルンピア○ココット○ナシゴレン ○インドネシアのカレー ○タフイシ油げ豆腐 ○ピサンゴレン揚げバナナ

24	在日大韓民国婦人会 神奈川県湘南西部支部	○チヂミ○トッポッキ○タッカルビ ○チャプチェ○ホットック
25	ISGAHE PORKHORI	○串ケバブ○ソーセジ○揚げ物○串焼 ○ドリンク
26	HAYA-HAY	○カレー○ナン○タンドリーチキン ○イエティのおやつ
27	青年海外協力隊神奈川OB会 （ＫＯＣＶ）	○プレーヤッサ○コーヒー

（7）ワールドバザール（11 日（土）、12 日（日）10:00～16:00　アプローチ・デッキ）

※11 日は雨天のため、屋内で実施

36 店の出店があり、NGO や民族グループが、それぞれの活動をアピールしながら、世界の民芸品、工芸品、民族音楽 CD などを販売しました。

	店名	主な販売物品
1	アンデス・アルテ	○ひょうたん細工○オカリナ ○民族楽器○指人形○子供服○雑貨
2	アジアの女性と子ども ネットワーク	○活動紹介パネル○手工芸品 ○フェアトレード品
3	UN Women よこはま	○スカーフ○バッグ○アクセサリー ○絵葉書○紅茶○塩 etc.
4	特定非営利活動法人 地球の木	○手刺しゅう小物○手織りのショール ○パスケース○BC バンブ
5	特定非営利活動法人ビラーンの医療 と自立を支える会	○活動の展示○手織物の小物やバッグ ○草木染○手作りビーズ製品 etc.
6	アマゾンカムカム・ヨコハマ	○衣料品○雑貨○カムカム飲料 etc.
7	チャンドニー	○ハンカチ○バンダナ○ストール ○ワンピース○ブラウス○スカート etc.
8	アリス	○インディアンジュエリー ○アメリカ雑貨○ＣＤ

9	合資会社オフィス五タラント	○マラウイハニー
10	スリランカ雑貨のラクリヤ	○サリー雑貨○コットン製品 ○キッチン雑貨○カレーキット ○紅茶○ビスケット etc.
11	ソープカービング教室	○ソープカービング体験教室
12	ウニク　デ　ペルー	○ネックレス○ブレスレット ○キーホルダー○小さな財布 ○化粧水○口紅○クリーム
13	ANAN'S　キッチン	○女川カレー ○カレー粉「おいしくなる香辛料」etc.
14	ケーナ	○オーガニックコットン ○手作りファッショングッズ○帽子
15	アンデス音楽グループ　MACHUPICCHU	○民族音楽のＣＤ○民族楽器○民芸品
16	BORDER JAPAN	○「ケランボード」のミニゲーム体験・ 販売(3 台)
17	インドシナクラブ (印度支那倶楽部)	○手織り絹布○染布○木綿衣料 ○木工製品 etc.
18	イエティコット	○ペンケース○小銭入れ○ポシェット ○バック類○活動紹介パネル
19	LOS ANDES(エクアドル)	○手作り雑貨○衣料品
20	チニーズ	○アクセサリー○雑貨○衣類○ＤＶＤ
21	あめ細工工房	○あめ細工
22	特定非営利活動法人 JUNKO Association	○ストール○ペンケース○アクセサリー
23	神奈川県ユニセフ協会	○写真パネル展示・報告 （世界の子ども達の状況とユニセフの活動） ○ユニセフ・カード＆ギフト頒布
24	HAYA-HAY	○小麦粉袋プロダクツ○伝統織り ○世界の種アクセサリーetc.

25	特定非営利活動法人 イーグル・アフガン復興協会	○音楽ＣＤ○アフガニスタン紹介文 ○民話○子供の写真
26	特定非営利活動法人 ふれんどしっぷ ASIA	○手作り雑貨○有機無農薬栽培コーヒー
27	ババ・アフリカ	○絵画○アートフレーム ○アクセサリー○衣服
28	ヘナボディアート　MEW	○ヘナボディーアートの体験 ○ヘナアート雑貨○ミサンガ
29	PRAJ 神奈川支部	○オヤ（クルドの糸を使った縫いもの） ○アクセサリー○ストラップ○ストール ○鍋敷き
30	株式会社タヒチプロモーション	○モノイオイル○ミュージック CD ○タオル○パレオ○T シャツ○雑貨
31	チーム　ピース チャレンジャー　大和支部	○ミサンガ○ネックレス○バッグ ○エプロン○ショール○ドレス ○T シャツ○コーヒー○紅茶 etc.
32	カンボジア母国語を 保証する会	○民芸品○シルク○スカーフ○カバン ○財布○ミサンガ
33	かながわベトナム親善協会	○手作り雑貨○民芸品 etc.
34	特定非営利活動法人 地球市民ACT かながわ/TPAK	○草木染＆ビーズフェアトレード製品 ○手工芸品○雑貨
35	コポトッコ・バングラデシュ	○手織の小物○バッグ○ベビー服 ○民族衣装○アクセサリー
36	NPO法人 日口文化交流センター	○民芸品販売○活動の展示

３　外国籍県民フォーラムの記録

■テーマ「いっしょに話そう！これからのかながわ！　～わたしにとっての多文化共生～
１hour session×２＋ステージ」
■日時　2013 年 5 月 11 日（土）13：00 開場、13：30～16：50
■会場　神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすプラザ）2 階　プラザホール
■参加者数　190 名（うち、パネリスト 6 名、テーブル参加者数 40 名）

さまざまな国籍、世代のパネリスト 6 名が発表し、８つのテーブルに分かれた参加者 40 名を交え、共に考え、話し合いました。

■パネリスト
第１セッション　宮田祐磨(日本)、金理恵(コリア)、高山由美(ペルー)
第２セッション　徳橋功(日本)、高橋メラニー(フィリピン)、Benjamin Brown(オーストラリア)

総合司会：徳野早苗（日本)、進行役：河内智之（日本)
挨拶：あーすフェスタかながわ 2013 企画委員長　劉功義（中国)。

【第１セッション】

徳野早苗（日本)
皆さま、こんにちは。本日、司会を務めさせて頂きます徳野早苗と申します。よろしくお願いします。開会に先立ちまして、あーすフェスタの企画委員長、劉功義さんにご挨拶を頂きます。劉功義さん、よろしくお願い致します。

劉功義(中国)
こんにちは。あーすフェスタかながわ 2013 の企画委員長を務めています劉功義と申します。ここは外国籍県民フォーラム。毎年ここでは色々考えさせられたり、考えたり、新しいことを知ったり、という事を学ぶ場として、少し外の喧騒の中から離れて、いろいろ考えさせられる、ちょっと静かな場となっています。是非この場で、新しい考えや発見や頭の体操というのをして頂ければと思っていますし、私もその時間を非常に楽しみにしております。短い時間ではありますが皆さま、楽しんで頂ければと思っております。よろしくお願いいたします。

徳野早苗（日本)
劉さん、ありがとうございました。では、続きまして本日のフォーラムの進行役の河内智之さんより、本日の趣旨につきまして説明を頂きます。河内智之さん、よろしくお願い致します。

河内智之(日本)
皆さま、こんにちは。もう少し声を頂いてよろしいでしょうか。こんにちは。この会場をご覧になれば分かるとおり、今回は参加型という事で、是非皆さんの胸を開いて腹も開いて、本音で語り合えたらいいなと思っております。申し遅れましたが、私はあーすぷらざに所属しております、河内智之といいます。よろしくお願いいたします。この外国籍県民フォーラムは、あーすフェスタで毎年開催されてい

る、あーすフェスタの核の企画の一つであると認識しています。今回は「私にとっての多文化共生とは」というテーマでこのフォーラムを行います。と、思うのですが、皆さん、この“多文化共生”ってなんでしょうね。という問い掛けがここにあると思うのですが、僕自身は、今、あーすぷらざに勤めていますので、多文化共生という分野に携わらせて頂いて、多くの外国籍の方、あるいは外国にルーツのある方と、話す機会はたくさんありますが、ここに来るまではそうではありませんでした。恐らく、多くの日本人の方は僕がここに来る前の状況と同じで、外国籍の方と深くお話をする機会というのは、あまりないのではないでしょうか。それだけに、この多文化共生という言葉を聞いたことがあっても、ホスト国である日本人にとって少しまだ遠い課題となっているように思います。今、あーすぷらざにいて色々な事業を行っているのですけれども、制度や仕組みなどはものすごく大切だと思うのですけれども、やはり一人一人の外国籍の方、あるいは日本人であってもそれぞれの人生や思いを聞いていくことが多文化共生を拓いていく要因の最も重要なことなのではないかと私自身は思っております。本日は 6 名のパネリストの方、日本・コリア・ペルー・フィリピン・オーストラリアと、6 名の様々な国籍の方から彼らの人生を語って頂こうと思っております。彼らに語って頂くことのそれを、会場の皆さんに聞いて頂くそれ自体がこのフォーラムの趣旨かと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、どのように進めていくかを説明いたします。本日の進行ですが、フォーラムのセッション 1 を 1 時間、14：40 まで行います。そのあとに、ステージ。第 1 セッションと第 2 セッションの間にステージが入ります。そのあとにフォーラムのセッション 2 が始まるということです。このフォーラム・セッション自体の説明なのですが、まず、パネリストによるプレゼンテーションがあります。これが 10 分間なのですが、最後に会場への問い掛けが各パネリストからあります。その問い掛けを受けて、テーブルトーク。今、皆さんがお座り頂いているテーブルでどのようなことを感じたか、考えたかを話して頂ければと思います。客席のみなさま方もお隣同士と、あるいは本日お配りしているボードに付いている紙に、気づいたことを記入頂ければと思います。テーブルトークが終わった後は会場とパネリストとの意見交換、あるいは質疑応答の時間を設けます。もう一度、お話しします。プレゼンテーションが 10 分、テーブルトーク 5 分、質疑応答が 5 分。これを第 1 セッションでは 3 名、3 セット行います。テーブルトークや質疑応答もあるのでタイトルにもある「一緒に話そうこれからのかながわ」ということで是非、積極的にこのフォーラムにご参加ください。

最後に、お願いがあります。まず、携帯電話はお切り下さい。よろしいでしょうか。2 つ目に今、申し上げましたが是非、積極的に参加いただければと思っております。3 つ目、パネリストがここで話し、そのあとにテーブルトーク、あるいは会場でお話し頂くと。そのあとはまた 5 分間、質疑応答の時間などもありますのでまず、話す・聴くの切り替えに、皆さんご協力ください。このような構成で進めていきたいと思っています。それでは、さっそくですが 1 番手、宮田祐磨くん、前へどうぞ。

宮田祐磨（日本）

こんにちは。明治学院大学国際学部国際学科 2 年の宮田祐磨と申します。2013 年のこのフォーラムにおいてトップバッターという事でとても緊張しているのですが、少しの時間、お付き合いください。このフォーラムの今回のテーマが「私にとっての多文化共生」このテーマで各パネリストが発表します。それを受けて、僕が今日、発表させて頂くテーマがこちらです。“友達”。この友達という言葉、皆さんは多文化共生という言葉を踏まえて、一体どのようなことを想像されるでしょうか。それでは、発表を始めさせて頂きます。僕には、ブラジル国籍をもつ友人がいます。彼とは本当に仲が良いのですがその彼が、こちら（会場画面を見せながら）和田ルーカスといいます。彼は、僕が小学校の頃、転校をして

きて同じ小学校・中学校を卒業して、彼は就職を、僕は進学をしたのですけれども、今でも繋がりのある外国籍、外国にルーツを持つ友達の一人です。そんなブラジル国籍を持つ彼と、なぜ僕が友達になったのか、まずそこから話を始めたいと思います。僕の出身は、岐阜県の可児市というところです。岐阜県の可児市には一つ、特徴があります。それは、外国籍の住民の方が多く住まわれている地域という事です。僕が横浜に引っ越しをしてきて 1 年間になるのですが、18 年間育った、この岐阜県に去年の夏に帰省しました。その時に、ルーカスと再会をしました。それほど仲が良いという事なのですが、その話をこれからさせて頂こうと思います。再会を果たすといっても彼は就職をして仕事をしています。僕が夏休みに帰った時に、なかなか 2 人の日程が合わず、再会出来ないといった状態でした。そんなある時、この日なら大丈夫だよ、という連絡が来まして日程を聞いて、約 1 年半ぶりに再会を果たすことが出来ました。1 年半ぶりという事で、多少気恥ずかしい部分もあったのですが、「ルーカス久しぶりやなぁ。」と僕が言うと「よう、宮田久しぶり！」と、彼はなかなか日本語が上手なのですが、非常に和気藹々とした、雰囲気の中再会を果たしました。そんな彼とのやり取りの中で、夏休みに岐阜に帰省して、岐阜で彼と再会をしたので今度は彼がこっちの横浜市に来て会おうじゃないかという話になりました。そんな時、彼からある一通の連絡が来ました。「ヤバいね、今チーズで見ると約 4 時間かかるよ。」彼から、こんなメールが来ました。僕は最初、彼は何を言っているのかと思っていましたが、つまりこういう事です。地図で岐阜県の可児市から神奈川県の横浜市を見ると、車で来ようとすると約 4 時間かかるんだといっていました。多少、日本語の表現がおかしい、そんなところがあってもそれこそ彼の良い所でもありますし、そんなチーズじゃなくて地図だろ、なんていう面白い時間を彼と過ごせるのが僕にとっては嬉しいことであります。

ここで、皆さんに一つ、考えて頂きたいことがあります。初対面。初対面というと、ある知らない方と名前を言い合って、挨拶をして、簡単な自己紹介から始まると思います。そこで、相手に対していい印象を持ったり、悪い印象を持ったり、悪い印象であっても、取り繕ったりして、そんな中から、友達や先輩、といった関係が生まれてくると思います。ここで、僕が声を大にして言いたいのがその相手が外国籍の方だったらどうか、ということです。日本人同士であれば、日本語が通じあってなんとなく文化も共有できて、そのような流れの中で、友達になっていくと思います。ただ、外国籍の方であるならば、やはり文化の壁、言語の壁、国籍の壁などいろいろなものがあると思います。しかし、根本的には僕は、先ほど述べましたルーカスと同じように、最初にあった時は日本人だとは思いませんでしたけれども、関係を築くという点では、彼に対して何の違和感もありませんでした。むしろ、お互いがなんとかして自分の気持ちを伝えよう、コミュニケーションを取ろうとする姿勢は日本人同士のそれよりも強いものを僕は感じました。ここは日本です。日本の中でもちろん国籍であったり、文化の違い、または言語の違いなど、さまざまな違いはあります。しかし、自分と出会った目の前の人、その人が自分にとっては友達でありますし、それはある意味で普通の関係であると思います。もちろん僕が和田ルーカスと幼いころに出会って、関係を築いてきたからこそ、言えることなのかもしれませんが、根本的には自分の目の前にいる人は一人の友達、仲間、という認識が必要であると思います。

最後に、「私にとっての多文化共生」、今日のこのフォーラムのテーマでしたが、それに対する答えは、皆が友達。僕はこれが答えだと思っています。もちろんこの友達というのはとても表面的ではありますし、文化や言語など様々な違いがあります。しかし、根本的には、目の前にいる人、それは自分にとっては一人の仲間でありますし、友達であると思っています。また、その思いを僕はこれからも心に秘めたいですし、今までもそう思ってきました。それでは、僕からみんなが友達である、そんな思いをこれからも自分の人生で出会う仲間と共有できる、そんな社会が実現されたらなと思います。皆さんに対す

る投げ掛けです。「国籍、言葉の壁を越えて友達という関係を築くために必要なこととは？」これを、皆さんに問いかけて僕の発表を終わらせて頂きます。ご静聴、ありがとうございました。

５番テーブル

宮田さん、ありがとうございました。僕たちのグループで出た答えですが、言葉・国籍などを越えて友達という関係を築くために必要な事。僕たちは知らず知らずのうちに偏見を持ってしまっていると思うんですね。例えば、国籍がどうとかいう話よりも、見た目からして、この人はちょっと目の色が違うとか肌の色が違うとか、そういうただ見た目だけで人を判断してしまいがちだと思うんですね。その後に果たして僕たちはその壁を壊してコミュニケーションを取っていけるのかというのがやはり難しいところではないかと思います。まず、個人個人の問題あって、「ここととここの国が戦争状態」だとか、「この国とこの国は仲が良い」とか、そういうことではなくて、ひとりの人間として「私とこの人とはこうだから」など接していく事が、やはり多文化共生にむけて大事なのではないかという意見がありました。ありがとうございました。

６番テーブル

宮田さんお話ありがとうございました。私たちは高校１年生の間にアメリカに研修という形で２週間滞在しました。その時に２回ほど、現地の高校生の子と自分とでバディを組んで半日間、授業の体験をさせてもらうというものがありました。その時に「不自由はなかったの？」という質問をされたのですけれども、私は全く英語が話せないのですが、あっちの人は分かってくれようとするんですね、すごく。だから、自分がこう言いたいんだけどという時に、先に感づいてくれて全然不自由はなかったし、今でも例えばフェイスブックなどで交流もしているのですごくいい経験になりました。

宮田祐磨（日本）

「友達」と言うのは僕が今、学生であるが故に言える事なのかもしれませんが、、やはり文化的な背景とかにどこか偏見を持っているという事は僕自身も否めないと思います。しかし、それを越えたうえでの関係が友だちだと思いますし、背景の違いを考えたり、偏見を持ったりしてしまうと、たとえ日本人同士であっても友達と言う関係は生まれないのではないかなと思います。ですから、文化や言語の壁を越えてと言うのは日本人同士が関係を築くプロセスと、それがたとえ外国籍の方であっても同じという意味で、僕は今回、「友達」という言葉を使わせて頂きました。なかなか、緊張した中での発表でしたけれども本当にご静聴ありがとうございました。以上で終わります

金理恵（コリア）

皆さんこんにちは。アニョハセヨ。私の名前は金理恵と申します。私は日本で生まれ育ました。神奈川県の川崎という場所なのですけれども、生まれも育ちも日本です。ですが、私の民族は朝鮮にあります。現在、私は在日本朝鮮青年同盟という所で働いています。その働くきっかけがあーすフェスタでした。どういった形で携わったのか、今から話をしていきたいと思います。実は私は第 1 回あーすフェスタが行われた 2000 年に子供記者という形でこのあーすフェスタに関わらせて頂きました。子供記者というのは多文化共生について共に語り合い自分たちが違う国の民族について取材をして新聞にするというものでした。私が今までどのような人生を歩んできたのか、多文化共生というワードを軸に、簡単にスピーチしたいと思います。

私は、幼稚園から大学まで民族教育を受けてきました。朝鮮学校で学んできました。私が小学校５年生になったころに、先生から「子ども会議」というものがあるので、やってみないかと誘いを受けました。子ども会議は川崎市で行っていたもので、川崎市に住む色々な国の子どもたちの主に、小学生が集まり、違う国の食べ物をみんなで食べてみて、そのあと感想を言い合って、この日はインド料理だったのですけれども、みんなで語り合い、一緒に遊び、違う国の文化に触れるというのが、子ども会議の主な内容の、それと共に、合宿という形で２泊３日で多文化共生について、自分について、自分の民族とは何か、ということを小学生ながらに語り合うという事を、私はやっていました。当時、小学生であった私は朝鮮学校に通いながらも、なぜか「私の名前は金理恵です。」という事を恐れていました。名乗る場がなぜか怖かったのです。実は私は、朝鮮名である“キムリヘ”という本名と、通名である“かねだりえ”という名前を持っています。それは通名なのですけれども、この２つを私は小学生の頃から自然に使い分けるという生活を送っていました。学校では“キムリヘ”と堂々と暮らしているのに一歩外に出れば、塾でもみんな“かねだりえ”という通名で私は通っていました。幼いながらに、なぜ２つあるのか、何でこんな状況になっているのかと疑問に思いながらも、それを深く追求しようとは自分自身思ってはいませんでした。

そんな中、子ども会議で、ある方がこんな言い方をしました。「日本人の子はこっちに並んで、外国人の子はこっちに並んでね。」は、今でもこの言葉を覚えているのですけれども、この言葉をきっかけに、私は日本表記の“かねだ”という名前を持っているのに、ここには朝鮮人である“キムリヘ”として参加しているのだという自覚と共に日本で生まれ育ったが私は日本人ではないのだという事に小学５年生の頃に気付くのです。私は、なぜ名前を２つ持っているのだろう、私は一体何なのだろう、私はなぜこんな状況にいるのか、なんでこんな悩みをしてしまうのだろうかと、小学生ながらに深く考えるきっかけになったのです。そして、その場が多文化共生について共に考える場になったのですけれども、その多文化共生という上で、日本人と外国人を分けるという事自体に、小学校５年生の私はなぜかモヤモヤを感じてしまい、見えないボーダーライン、境界線を感じてしまったのです。それと共に、私は外国人であるという自覚も大きく深まったのですけれども結局、私はこの日本で生まれ育った外国人であり、多文化共生というワードはその頃にもあったのですけれども、する側なのかされる側なのか、そもそもその境界線はあるのか、多文化共生とは何なのか、私自身も分からなかったし多文化共生をする・されるという行為や言葉自体が果たして合っているのか、と小学生ながらにとても疑問に思っていました。それでも、日本の子や外国の子たちといつも仲良く楽しく、過ごしていました。そこにはウソもなく楽しく、さっき宮田くんが言っていたように、友達として普通に話し合っていました。ですが、この疑問は誰にも打ち明けられずにいました。

そんな時、中学１年生になり子ども会議の経験を生かし、「あーすフェスタの子ども記者」というものをやってみないかと先生から言われました。また自分の見えない壁にぶち当たってモヤモヤを感じてしまうのではないかと思い一度は断ったものの、結局私はやることを決め、鶴見区コースに参加することになりました。鶴見区コースは日本学校に通う生徒と朝鮮学校に通う生徒で、鶴見区に住む南米の方と沖縄の方にインタビューしそれを新聞としておこすというのが私たちの役割でした。（会場写真を見せながら）その時作った新聞がこちらになります。記録が残っているのに私はびっくりしたのですけれども、私はこの新聞記者を通じて人生を歩むうえで、大きな自信を得ることになるのです。どういった自信を得たかと言いますと、この新聞の右下に「母語教室を始めて」という部分があるのですけれどもこれを大きくしたのがこちらになります。この記事は、私が直接パソコンで打って文字におこして新聞にしたという記憶がありますその文章をここで読み上げてみます。「私は、母語教室の取材担当をして

一つ大事な事が分かりました。それは、私たち朝鮮人は不便な面もあるけれど自分の国の言葉を習う場所があるということです。そして、この母語教室も、時間は違うが言葉を学べる場所という事でブラジルの人たちやアルゼンチンの人たちにとって、とても大事な場所です。この母語教室は毎週土曜日に中学校で開かれています。この日はブラジルの子供たちが自分たちにとっての国語をならっていました。ブラジル語かと思っていたら言葉はポルトガル語でした。そして子どもたちが使っている教科書はブラジルから持ってきたそうです。この教室は９４年に成立しました。教室には３歳から１４歳までの人たちが通っています。先生は３人、そしてお母さんたちも教室を手伝いに来ているそうです。この学校は子どもたちにとって元気の出る学校という事で、とても愛されています。私は子供記者を通してこんなことが分かりました。」私はこうやって子ども新聞に記事として残していました。この時、私はこの母語教室を見てとても色んな感情を得ることになります。この時、自分たち以外にもこんなにも多くの外国人の人が言葉を、そして自分の民族を愛しているのだと初めて気付くのです。朝鮮学校に通いながらもそれは自分たちだけなのかなと、自分たちと違う人たち日本学校に通う人たちとの交流は多かったのですけれども、初めて自分の母国を学ぶことを大事にしている人たちに出会うのです。私は初めてこの時、自分の文化や言葉を学べる場所、私たちはよくウリハッキョというのですけれども、その大事さ、そして自分はとても幸せな環境にいるのだなと感じたわけです。それと共に、私が子ども記者をやった時のノートに、ちょっと言葉が気になってしまうのですけれども、ウリハッキョヌンナエチャランヨチャシニダ、ウリハッキョは私の自慢であり自信に繋がる、という言葉を書き残していました。本当に私がこんなことを書いていたのかと自分でもびっくりしんたんですけれども、この時、私は今まで自分が朝鮮人であることに自信が持てずにいました。一歩外に出れば日本の名前を使っていた自分、なぜか恥ずかしくなりました。この母語教室を通して改めてウリハッキョという場所で学べている喜びと自信を感じ、そして自分の今後の人生においてアイデンティティを深めていくその第一歩、大きな勇気を与えてくれた、そんな私の経験になりました。自分のアイデンティティを確立するうえで、子ども記者・子ども会議という２つのきっかけと共に、自分が学んでいるウリハッキョというその環境を通じて今の私がこの２つのきっかけと環境が私の大きなターニングポイントでした。それがあったので、今日、私はこの場で話が出来ているのかなと思います。

　私は、在日本朝鮮青年同盟というところで働いています。時には風当たりも強く、自信を失う事もあるのですけれども、そんな時に私は在日本朝鮮人学生会、ハッセンフェと呼ぶのですけれどもそういった団体に出会いました。その子たちはコリアにルーツを持つ、日本の学校に通う学生たちの集まりのです。私はそこで通名である日本名から本名である朝鮮名で卒業することを決めた学生に出会ったのです。彼女は、今までは日本学校に通っていて日本名だったのですけれども、初めて学生会、ハッセンフェという場で自分の民族について知り、名前の重要さに気付き、自分の民族に誇りを持っていいのだという自信を得た彼女は、大学にも今、本名で通っています。その彼女はとても自信に満ち溢れていて、本当に私よりも輝いていました。私はその彼女を見て、やはり自分のやっていることは間違いないのだ、自分の民族について誇りを持つこと、民族を大事にするという事は決して間違ってはいないという事に改めて気付くことが出来ました。私は現職に就きながらも色んな方に常に成長させてもらっていると感じています。このように私にとって大切なきっかけをくれたこのあーすフェスタ、最初は１４年前になるのですけれども、今でもこうして自分が関わっていることにとても不思議でたまりません。やっぱりその裏には色んな方々の支えがありこういった、空間・環境・企画が生まれてきたことに、本当に私は感謝しています、それがなかったら私は未だに日本名でちょっと隠れながら生きてきたのかもしれません。そう思うと自分は本当に怖いですね。でも、このあーすフェスタという場で、多文化共生という軸を通

じて私は、色んなことを考えるきっかけを得ました。私は、外国人であるという偏見を自分自身も作っていました。その壁を壊し、胸を張って生きて良いという自信を与えてくれた多くの方々に改めて感謝を伝えたいなと思っています。そして、私にとって学ぶ場であったウリハッキョは、そのきっかけをくれた大切な場であります。私はそのウリハッキョで自身のアイデンティティを確立し、それと共にたくさんの仲間と大きな同胞の愛の中でそのアイデンティティを育んできました。今、ウリハッキョに関しては補助金や高校無償化問題などで風当たりが強い時期ではあります。そんな中、学生たちは共に戦っているのですけれども、そんな学生たちを見て私はとても不安になります。私のように自信を失い、そのまま隠れて生きてしまうのではないかと、自分がやっていることを否定してしまうのではないかと、とても怖いです。私は、彼女たち彼らたちにそんなことはないと、共に考えていこう、民族を大事にすることは大事なんだと、この場にいて一緒に学ぶことは大事なんだと、いう事をこれからも学生たちと一緒に考えていきたいと思っています。

私にとって多文化共生は、正直、まだはっきりとした答えは出ていません。でも、ここに集まっている皆さんは多文化共生に向けて考えていこうと心を向けている人たちだと思います。今日、私が話したこの話からこんな外国人がいるのだと、まず皆さんに知ってもらう事が第一であると思っています。その知るためには自分自身のアイデンティティをしっかりと持つことが私は大切だと思っています。持たない限り、相手のことを理解する一歩を踏み出したり、心を開くことはできないと思います。最後に皆さんに問い掛けたいと思います。「皆さんにとって自分らしさとは何ですか。互いが分かり合えるために、まず自分自身を知り、自分自身を知ったらアピール出来ると私を思います。自分が大事にしているモノ、自分の民族を表現する上で大事にするモノはなんですか。」私は、この問い掛けをしてこのスピーチを終わりたいと思います。ありがとうございました。

3 番テーブル

さっき話を聞いていて、自分の名前を２つ持っているという事だったのですが、私も高校に来るまではミドルネームを隠して生活していました。高校に来てやっと自分のミドルネームを使うようになってそのミドルネームで呼ばれる機会が増えるようになってきました。小学校の時はどうしても日本人になりたくて本当は私は髪の毛がカールなのですけれど、毎月ストレートにしていました。中学校に入ってだんだん自分のやっていることは違うかもしれないと思って、高校に入って、私はアメリカと日本のハーフなのですが、２つ国があるという事は大事だなと思うようになります。今はまだ自分らしさが何かという事は見つけられなくて日々、アメリカと日本と言う国籍の間で揺れているんですけれども、今の話を聞いて２つの国を持っていることはやっぱりいい事なのだと思って、よりそれに見つめ合っていけたらなと思いました。

金理恵（コリア）

ちょっとでも通じたのかなと思って嬉しくなりました。自分の民族を大事にすることに気付くその自分がとても大事だと私は思います。２つ民族を持っていてどちらかを否定する訳ではなく、その２つを受け入れて自分がどう生きていくのかというのが自分を成り立たせる自信に繋がっていくと思うので。答えはまだ見つからないと思います。私のさっきの問い掛けもそのきっかけを作ってもらえたらなという意味での投げ掛けでした。常に私も自分らしさとは何かを考えていますし、これからも常に色んな高校生に伝えてあげていって下さい。

高山由美（ペルー）

よろしくお願いしいたします。高山由美です。ペルー国籍の２４歳です。ペルー生まれの日本育ちで小学校、中学校、高校、大学も日本で卒業しました。多文化共生というと、ものすごく広いものになってしまうので今日は少し狭くして、母語教育が必要かどうかについてお話しさせて頂きたいと思います。さっきのパネリストの方とは逆の話になってしまうかもしれませんが、聞いて下さい。

日本で生まれ教育を受けている子どもの多くはこれから日本で生きていきます。では、ここで問題として出てくるのが、まず母語教育だと私は思っています。まず、私の話を少ししたいと思います。私はペルーで生まれ、２歳のときに日本に来ました。スペイン語を話せる状態で日本に来たのですが、保育園に通うようになり日本語を覚えましたが、同時にスペイン語が話せなくなってしまったのです。そのため、親と全くコミュニケーションが取れなくなってしまったのです。親から聞いた話なのですけれども、母は娘の言っていることが分からないと泣き、私はママが私の言っていることを理解してくれないとよく泣いていたそうです。パパは仕事から帰ってきてドアを開けるとその場面を見るんですね。びっくりしますよね。なんでこの２人は泣いているんだと。でも、２歳児が言うことですので、なになにがしたいとか、公園に行きたいとか、簡単な会話なんですよ。でも、それすら親と会話ができなかったのです。だから、私たち家族のコミュニケーションの手段は通訳を通してでの会話でした。コミュニケーションがあまりにも取れなかったので４歳のときに一度、帰国をしたのです。６歳までの２年間をペルーで教育を受けました。その後、再来日し、小学校２年生からずっと日本で教育を受けています。今は、日本語とスペイン語を話せるバイリンガルです。スペイン語と日本語であれば日本で教育を受けている分、私は日本語のほうが得意です。スペイン語は、生活に困らない、仕事ができる程度の能力は持っています。では、なぜ、２年間しかペルーで教育を受けていないのにここまでスペイン語を保つことが出来たのか。よくびっくりされるのです、実は。２年間しかペルーにいなかったのに、どうしてそこまでちゃんとスペイン語を話すことが出来るの、と。それは、親のおかげです。すごくスパルタ教育だったんですね、うちの親は。いやいや言いながら通訳をやらされ、ペルー学校の通信教育を受けさせられ、新聞も大声で読むんですね。間違えたら、「はい、最初からー。」みたいな。すごくいやでした。でも、今になっては感謝しています。でも、何よりも私が日本語を話す必要があったのかというのは、やはり親が全く日本語を話せなかったからです。私の経験から母語教育はとても重要だと思いますが、果たして日本で生まれた外国籍の子供にとって母語教育は必要でしょうか。こちらを見てください。私の弟のケースと比較します。これをもとに、母語教育が本当に必要なのかどうかについて話をさせて頂きたいと思います。私は２歳の時に来日した、ペルー生まれの日本育ちです。ペルーで教育を受けていたため、幼い頃から自分は一応、ペルー人なのだという自覚はあるのです。学校では日本語を話し、家ではスペイン語です。親が日本語を話せないため、スペイン語を話す必要性があったのですね。では、次に弟の場合です。弟は日本生まれの日本育ちです。日本で教育を受けて、自分は日本人だと思っています。学校では日本語、家に帰れば日本語とスペイン語を話せる姉がいるため家でも日本語です。スペイン語を話す必要性を感じないのです。弟は、スペイン語ではなく日本語を覚えました。ちょっと弟の話をさせて頂きます。弟は小学校に入り１週間の授業の２時間ぐらいは国際教室で勉強を教えてもらっていました。弟の日本語能力はほかの生徒と全く変わらない程度で唯一、漢字がちょっと苦手なくらい。でも、それは日本人でもよくあることですよね。しかしある時、国際教室で日本語ではなくスペイン語を教えられるようになったのです。実は、母語教育が国際教室で行われていたことに、私たちは何も知らなかったのです。子どもは純粋で自分の親は外国人だけれども、自分のことは日本人だと思っているのですね。ただ、周りとはちょっとだけ環境が違うだと、そう思います。でも、弟にとっての母語というのは

日本語なのです。アイデンティティが形成されつつある時に、自分は日本人だと思っている子どもに本来の母語、スペイン語を教えることによって学校側は、あなたは外国人です、と無意識に差別をしてしまっているのです。決して、悪気でやっていないというのはちゃんと分かっているのです、私たちも。でも、アイデンティティというのは取り巻く環境と人に認められることによって形成されていきます。日本で生まれ、教育をするという環境の中で、周りの友達からは「日本で生まれ育ったんだから日本人じゃん」と認められているのです。しかし、母語教育を受けるようになってからそのアイデンティティが崩れ、子どもは混乱し、答えの出ない何かを抱えて、ずっとただ悩み続けるのです。国際教室で母語を受け始めてから、弟は私たちに「僕って外国人なの？僕、日本生まれだよね？」と聞くようになったのです。今まで考えたことがないようなことを考え始めたのです。これは、とてもデリケートな問題で、私と弟のように生い立ちの違うだけで、どう取り扱うのかしっかり考えなければいけないのです。国際教室にもう行かせないと言いました。そしたら、こういった言葉が返ってきました。「勉強についていけなくなった時に、国に戻るかもしれないじゃないですか。高校に行けなかった時にどうするのですか。」弟は日本で生まれ育って、ペルーのことを何にも知らないのです。一回もペルーに行ったことが無いので。戻るって何なんだよって私は思ってしまったんですよね。日本生まれ日本育ちである弟にとっての故郷は日本なのです。母語教育以外にもたくさん問題がありますが、大切なことは外国人はこうであるという先入観を捨て、学校側が各家庭、子ども一人一人が違うことを認識し、親は子どものために何を望んでいるのか、子どもにどこで生きていって欲しいのかを確認し、把握した上で、それぞれに合った教育が必要になるということを、そして、子ども・学校・親、この３つのコミュニケーションが絶対不可欠であることを知って欲しいです。しかし、そういった制度もまだしっかりしていないのです。

　よく、こんな質問をされます。「自分はペルー人だと思っているの？日本人だと思っているの？」ペルー人という自覚はあるのですけれども、私は心では日本人だと思っています。それは、日本で教育を受け日本の文化を学んできたからです。書類上ではペルー人、心では日本人です、私は。周りの人も日本人の人しかいないですし、日本が大好きなのです。そのため、純粋な日本人に、外国人と言われるとちょっとへこみます。日本で教育を受けたことで日本人の立場に立つことが出来、親の背中を見てきたことで外国人の立場にも立つことも出来るんですね。こういった現状を変えて、懸け橋になれるのは私たちだと思っているんですけれども、何よりも日本人と外国人という大きなものではなく、個人と個人が互いについて教え合い、理解し合い、認め合うことが必要です。あーすぷらざに働き始めてからこんなにも多文化共生を意識し、一生懸命になってくれる方々は自分たちだけではないということを知りました。多文化共生は実現できると思います。決して、簡単なことではないと思います。時間をかけて、みんなで変えていけることです。では、最後に最初に言いましたが、いま日本で教育を受けている子どもの多くは、これから日本で生きていきます。外国人はどれだけ長く日本に住んでいても外国人でしかないのですけれども、私は弟のように自分の事を日本人だと思って、日本を愛する外国人はたくさんいます。では、「果たして自分は日本人だと思っている子どもに対して母語教育は必要でしょうか。」以上です。

1番テーブル

　高山さん、お話ありがとうございました。母国語も日本語も話せる方がいいと思います。絶対という訳ではなくて、一人一人考えが違っても、その大切の度合いが違ってもある程度は話せる必要があると思います。ただ、多くの人と話すのではなくて家族など小さな環境で話すためでもいいから、伝えるためには両方話せた方がいいのではないかなと思います。

1番テーブル

高山さん、ありがとうございました。私は、見ての通りコリアンなのですが私が知る限りでは本当に色々なコリアンがいて、高山さんみたいな方もいらっしゃるし高山さんの弟さんみたいなタイプの方もいらっしゃるし、その他にも色々な変形した朝鮮人も見てきているのですごくよく分かります。外国人自身も必ずしも母国語を話せなくてはいけないという訳ではないし、私自身も自分の家族にそう要求しています。けれども、果たして本当にそうあるべきなのかと言われると、私は外国人の考え方自体も多様であっていいと思うので、高山さんの考え方と似ていて、そうなんだとかなり勉強させられました。ただ、私もアメリカとカナダという国で少し生活をしていた経験があるのですけれども、あそこでは私は英語しか話せなくてもいいと思います。法の下ですべての人々が平等にあると、ある意味色々な問題に実践がなされているけど、この日本は法の下で外国人の人たちは平等ではないです。そうなると母語が話せる、母文化を理解しているというプラスの要素が、権利の保障されていない私たちにとってはかなり大きな力になると思っています。要するに、本当は日本語だけですべてのことが解決されればそれでもいいのだけれども、なかなか日本という国は難しくて社会の根底から直さなくてはならない問題がたくさんあるので、やはり日本では母語が必要だと思います。以上です、ありがとうございました。

高山由美（ペルー）

貴重なご意見ありがとうございました。私も、実は法律を学んでいまして、色々変えて欲しいなというものが実際、たくさんあるんですよ。私も、一応自分のことは外国人であるという自覚はあるので、ペルーという国も大切にはしています。でもやはり日本で教育を受けて、日本の文化に触れて、見て、ペルーのことは知識しかないんですね。ですので、自分を思い返してみるとやはり自分は日本人なのかなと思います。ありがとうございます。

河内智之(日本)

宮田さんからは「友達」という視点で、金理恵さんからは「民族の誇り」という視点で、高山さんからは「母語」という視点で多文化共生について話をしてもらいました。みなさんにとっても新たな学び、気付きがあったでしょうか。これで第１セッションを終わります。もう一度、発表して頂いた御３方に大きな拍手をお願い致します。ありがとうございました。

徳野早苗（日本)

第１セッションのパネリストのみなさん、テーブルに参加して下さったみなさん、そして会場のみなさん、ありがとうございました。これで、外国籍県民フォーラムの第１セッションを終了致します。この後、このステージで横浜右道農楽のみなさんによります農楽の演奏を致します。舞台のレイアウトを変えますので、少々お待ち下さい。テーブル席におつきのみなさんは、お手数ですがお荷物をお持ち頂いて少し客席の方に移動して頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

【横浜右道農楽による「湖南右道農楽」演奏】

【第２セッション】

河内智之(日本)

それでは、第２セッションに入りたいと思います。横浜右道農楽、素晴らしかったですね。熱気が満ちてきて、すみません、こんないつものスタイルになってしまいましたが、もうこのぐらいの認識なので、本当にアットホームな感じで進められればと思っております。どうでしょう、会場の方でまだ、テーブルに席が空いていますので、もしよろしかったらと思うのですけれども。では、第２セッション１番手、さっそく発表頂きたいと思います。徳橋功さん、よろしくお願い致します。

徳橋功（日本）

どうもみなさん、こんにちは。徳橋と申します。昨年のあーすフェスタ 2012 では、ちょうど客席に座っておりました。その時、私は用事があって途中で帰ってしまい、本当に大変申し訳ないなと思っていたら、なぜか、今年ここに立っています。今日の件は一本の依頼電話から始まりましたが、本当に自分としては、こんなところで話してもいいものなのかと、原稿を作りながらも迷っていましたけれども、ありのままを話して下さいと言われたので、お話させて頂きます。

（会場画面を見ながら）こちらは、私が運営している“ My Eyes Tokyo ”（http://www.myeyestokyo.com/）というインタビューウェブサイトです。日本に住んでいる外国人の方々にインタビューさせて頂いています。インタビュー対象者は一部、日本の方も含まれています。今まで大体 100 人以上、それ以外の活動も含めると述べ 200 人ぐらいにインタビューさせて頂いています。

“ My Eyes Tokyo ”、これは、英語的には滅茶苦茶なんですけれども、“ 私の眼を通じてみた東京 ” ということを表したくて、こうしました。全く違う国からやってきた一人の人間が、日本という場所に来て、どのようにその生活環境に適応しようと格闘しているかを綴ってまいりました。

では、なぜこういったことをやってきたのかということをまず、お伝えしたいと思います。私は、かつてテレビ業界にいました。もともと、自分としてはインタビューというものに関心がありました。学生時代に一冊の雑誌を読みまして、それはインタビュー形式でまとめられていた雑誌でした。インタビューは、その人が学んできたもの、背負ってきたものなど、その人らしさを感じながら、自分も成長出来る、そう思いました。そういったことを仕事にできたらと思ったので、メディアの世界に飛び込んだのです。しかし実際は、報道の世界はそれとは逆で、日々飛び込んでくるニュースを処理するので精一杯、いつのまにか初心を忘れていたのですけれども。

そんな時に私はアメリカに行きました。（会場画面をみながら）これは 2002 年の写真です。2001 年にアメリカに渡り、向こうのテレビ局でインターンをしました。カリフォルニアの田舎で、ロサンゼルスとかサンフランシスコみたいな都会じゃなかったので、そこの人たちはあまり日本のことを知らないんですね。まず、言われたのは「中国語を理解できるのか？」ということでした。あと、「東南アジアの言葉も理解できるんじゃないか」とか。アメリカ人と一緒に住んでいたんですが、その時に「日本人もステーキを食べるのか？」とかよく聞かれました。また、様々な誤解もされました。例えば、「東京は自転車が死ぬほど一杯走っているのか？」とか。それは北京だろうと思ったんですけれども。

一方、アメリカでは、今は韓国製品に押されているのかもしれませんが、当時は SONY や Panasonic の製品で溢れていて、子どもたちは任天堂で遊んでいたわけです。ゲーム機は一般的に"Nintendo"と呼ばれていました。アニメもあったし、カリフォルニアでは TOYOTA・HONDA・NISSAN の車が走っていました。それでも日本を知らないということで、それだったら自分で日本を発信したいと思ったわけです。だけど、どうやって発信するか、何を発信するかという時に、私には特に何も無かった。特に日本文化

に詳しいとか、例えば日本の柔剣道ができる、書道ができる、何ができるというわけではなかったので、どうしたらいいかとなった時に、インタビューがいいのではないかと思ったのです。

それで、初心に返って、色んな外国の人が見た日本というのをそのまま伝えれば、10 人が見た 10 人が感じる、それぞれの日本を発信すれば、偏りがない「日本」を発信できるのではないかと思ったんです。それで、インタビューを始めました。そこから今日に繋がる活動を、2006 年から始めて、約 7 年になります。当時そういったことでインタビューを始めました。

さて、どういった人々を、どこで見つけてきたのか、ということですが、例えば、こういう人がいます。（会場画面を見ながら）この人はオーストラリアの芸者さんですが、こういう人は雑誌で見つけて、会いに行ったりしました。主に、意図的に、欧米、アフリカ、中東など、日本から遠い国の人たちにインタビューしました。それは、地理的にも文化的にも非常に違う所から来ている、そういう人たちが見た日本を、私が感じたかった、知りたかったというのが理由です。しかも、こういった、かなりエッジが効いている、あまり普段の生活では見掛けないだろうという人たちを狙ってインタビューしました。

他にはどういった人たちをインタビューしたかというと、典型的なのは、アルジェリア人のそば職人さん。武蔵小杉にお店がありました。トルコ人とかイギリス人の落語家さんというのもいます。大阪のほうですけれどね。そういった革新的な人を狙ったわけです。

こういうインタビューを続けてきて、私が一つ気付いたことがありました。それは、日本語を話せても読めない人が多いということです。本当に、これには驚かされてきました。日本語を話せる人でも、例えば書く文字はローマ字という人もいました。（会場画面を見ながら）この人は千葉市内でケバブ屋さんを経営しているのですが、元プロのサッカー選手です。もう少しで稲本と一緒にプレイするという所までいったんですが、それはなかったそうです。彼は全く日本語がしゃべれずに日本に来ました。全然しゃべれなかったのですけれども、とても明るい性格で、スポーツが得意だということで、もう今では日本語で普通にお客さんに「お前、何やってんだよ～」と話しかけたりしてやっていますが、恐らく字は今でも読めないはずです。

ところで、なぜ延べ 200 人にインタビューをしてきたのかということですが、一言でいえば、私は彼らを「尊敬」しているのだと思います。私はアメリカにいましたが、合計で 2 年しか滞在していなくて、そそくさと帰ってきたわけです。私はこれまで意図的に、旅行客には基本的にインタビューしていないので、全部の人達が、長期在住者で、大体５年から１０年、長い方だと２０年から３０年住んでいる方もいます。そういう人たちが大半です。色んな話を聞いていると、字が読めないなどの言葉の壁と戦い、歯を食いしばって生きてきています。そういう所に私は尊敬の念を抱くのです。

なぜ彼らが日本に住み続けるのか、なぜここに根を下ろそうとしているのか。それは“覚悟”の一言だと、私は思うんですね。嫌いだとか、好きだとかではなく、そこに住むしかないのだというところで、住んでいるのだと思います。あるエチオピア人にインタビューしたのですが、その人も言っていました。「長く住んでいるからこそ、日本の好きなところ、嫌いなところは、簡単には答えられない」と。それは恐らく、今この会場にいらっしゃる方すべての思いかなと思います。また私は難民の人たちにも出会っていますが、難民というのは国に帰ったら殺されてしまうという人たちだったりするわけです。

次に画面でお見せしたいのは、孔連順さんです。今日、この会場にいますね。立って頂いてもよろしいですか？（参加者テーブルにいた孔さんが会釈）。昨年まではフェスタの企画委員長をされていました。孔さんにも、“My Eyes Tokyo” の、TOKYO INTERVIEW(東京対談)で、お話を伺いました。その際、インタビューの一番最後に「孔さんにとって、日本って何ですか？」と聞いたら「ホームスタジアムです」とおっしゃっていました。「私を応援してくれる家族も友人もみんな日本にいる。安心できるし、 心

強いし、本当に頑張れる。私もここでなら「寂しくない」「勝てるぞ」って気にさせてくれる、日本はまさにホームですよね」と。

次に、インタビュー、活動の原点についてお話します。私はカリフォルニアで移民学校のような所で英語を学んでいました。その時にメキシコの人や南米の人、ロシアの人、中国の人、色んな人に会いました。そこでの出会いに加え、英語を通じて、全くバックグラウンドが違う人たちと同じ時を過ごした、そういった経験が懐かしくて、それを自分は追いかけているのだと思います。

これまで私一人でインタビューさせて頂いてきましたが、こういう経験を独り占めするのはもったいないなと思っています。学生などのみなさんとシェアできたらなと思っています。また、私は先ほどテレビ局でインターンをしていたと言いましたが、異なるルーツを持つ者同士が、何か一つのものを創り上げていく、そういうのを日本企業も、もっと取り入れていったらなと思います。そういったことをすれば、本当に面白いもの、世界を驚かせるものが出来るのではないかと、これまでの活動を通じて私は考えました。

最後に、一つの質問をさせて頂きます。先ほど、国が違う者同士で一つのものを創り上げていくことを提案しましたが、それをやっているところは実際にありますね、日本の楽天さんや UNIQLO さんです。そこで、みなさんにお聞きしたいのが、「そのような状況では、社内公用語は日本語であるべきか英語であるべきか？」ということです。多文化共生において、職場環境でこれは避けられないと思うんです。そこには日本語が不自由だと感じる方がいるかもしれない。そういった時にどちらを取るのかということを、皆さんに考えて頂きたいと思います。ご静聴、どうもありがとうございました。

7 番テーブル

お話、ありがとうございました。「社内公用語は英語がいいか、日本語がいいか？」と言うお話だったのですけれど、私は、英語とか日本語とかそういう話ではなくて、言語自体に優劣はないと思っています。どの言語が良いとか悪いとかはないと思っているので、社内公用語などといって決めつけること自体が良くないのではないかと思います。

6 番テーブル

最近は、日本語でも意思疎通が出来ない、というのがあって、もしかしたら英語なら上手に意思疎通が出来るかもしれない。そうであるならば、英語を社内公用語としていいのではないかと思います。エッセンスだけを伝えようと思うとやはり英語の方がいいと思うので。楽天とかもそういった意図があるのではないかと思います。やはり、最近の英語教育においてもエッセンスだけを伝えるという事に重きを置いています。ありがとうございます。

徳橋功（日本）

確かに、日本語って難しいですよね。曖昧な表現が多いですし。主語を抜かしたりもしますしね。この問題に関しては、私も引き続き考えていこうと思います。もし、何かあれば、私のウェブサイト「My Eyes Tokyo」（http://www.myeyestokyo.com/）に確かメールフォームがあったと思うので、そこに連絡して頂けたら嬉しいです。どうも、ありがとうございました。

高橋メラニー（フィリピン）

こんにちは。ちょっと長い時間座って、お尻痛くないですか？もう一度いいですか、こんにちは。では、自己紹介をさせて頂きます。高橋メラニーです。フィリピンの出身で日本人と国際結婚しました。

今は３人の子供がいます。現在は、あーすぷらざの外国人教育相談窓口にいますので、是非、聞きたいことがあれば声掛けてください。MIC かながわでタガログ語の通訳もしています。今は、外国籍県民神奈川会議の第８期の委員の一人としても活動しています。

私のテーマは“ 日本人と共に働く外国人 ”です。実際の自分の経験を語りたいと思います。その前に、一言聞いて下さい。「悪いことばかりじゃない。良い事もある。諦めないで、前に進んでいつも笑顔でいる。」これは、いつも私の心にある言葉です。外国人は日本で働くのはすごく大変だと思うのですが、いつも笑顔でいれば前に進むことが出来るのではないかなと思います。介護の仕事で実際に感じたこと、経験したことを話したいと思って、今日は来ました。私は、仕事をするために日本に来日しました。そして、夫と出会い結婚をして子どもも３人、恵まれました。今、幸せな毎日を過ごしています。私にとって良かったことは仕事を始めた時に仲間が日本人ばかりだったのです。日本語を聴く・話す機会が多かったことです。みんなが日本人だったので日本語もすぐに覚えました。それで、日本語は少しずつ上達していきましたが、その日本語がどの程度のレベルなのかと思って日本語能力検定にチャレンジして２級に合格しました。やっぱり日本で仕事をするためには、話すことだけじゃなくて、書くことも大切だと思って、漢字検定にもチャレンジしました。まだ、小学レベルですがこれからもチャレンジし続けていきたいと思います。これまで、色々な仕事をしたが、将来のために介護ヘルパー２級の資格を取りました。そして、介護士として仕事を働き始めました。２か月に１回は医療通訳の勉強をしているんですね。医療用語とか病気の勉強とかしていますが、結構難しくて、やはり専門的な事ばかりなのでそれを、みんなでたまに集まって医療用語とかの勉強をしています。（会場画面を見ながら）これが、私のＭＩＣ神奈川の通訳の仲間たちです。

話が戻るのですけど介護の現場に入ってまず大事なことは利用者様の名前と顔を覚えなければいけないという事です。それぞれの性格や病歴も把握しなければなりませんでしたのでとても大変でした。性格もみんな違うし名前も顔は覚えているんですけど、なかなか難しくて覚えられなくて字もたまに、さとうさん・さいとうさんが多くて、どっちなんだろう？となって、それはすごく大変なんですけれども、名前を言わなくても利用者様たちが「あーメラニーさんだ。」って触って、みんな名札が入っているので「あぁ、さいとうさんだったー。元気ですか？」って笑顔でごまかしました、結構みんなの名前が難しかったのですが。すごく大変で利用者様たちだけじゃなくて仲間とのこともあるので、３か月間は本当に不安で、毎日が大変だったんです。いつもうちに帰ったら主人に励まされて、やっぱりやめたい気持ちもあったんですけれど、いつも主人からは「大体、３年だね」ってよく言われています。「大体、入ってからは最低３年は頑張らなくちゃダメ。」って。それで、始めて２年経って、お仕事の事とか覚えるんだそうです。あとは、「見ている人はちゃんと見ているから。頑張っているところは見ているから、もうちょっと３年間は頑張って下さい。」っていう事を言われました。そんなことがあっても職場では出来る限り、笑顔で楽しくして接するように本当に心掛けました。休憩時間になると先輩のヘルパーの人たちが利用者様について注意点などを細かく教えてくれることが一つの私にとっての支えでした。やはり高齢の利用者様の中には、外国人に対して偏見があり、この人に介護されるのは嫌だという方もいらっしゃいました。その場で、無理に笑顔を作りましたが、ある日涙が溢れてきました。でも、そんな私の姿を見た係長が味方になって、私のとこを詳しく説明してくれて利用者様に少しずつ偏見もなくなり私に優しくなりました。私自身も、何を言われても笑顔で答えるように努めました。仕事は最初は簡単な、お茶出し・配膳・見守りなど色々な事でしたが、１年の時間が経つにつれ難しいことや医療用語など分からない事が多く出てきました。その時に、出来るだけ分からない言葉はメモして、後で調べて覚えるように努力しました。職場での責任も多くなりましたがその反面、やりがいもありま

す。職場でのリーダーとなって仕事を任された時には、外国人である私を認めてくれたと本当に嬉しくてワクワクする毎日になりました。私は、多分皆さんも分かるように、声が大きいのです。マイクが要らないくらい大きいんですよ。私が毎朝、元気に「おはようございます。」と言うと、耳が遠くなった利用者様たちも聞き取りやすいのか、笑顔と共に「やっぱりメラニーさんだ。」とよく言われるんですね。私が行くと、すぐ腕を撫でてくれるんですよ。すごく優しく撫でてくれて「メラニーさん、今日もよろしくね。」って言ってくれるようになりました。この一瞬が大きな喜びです。介護の仕事は重労働です。利用者のベッドから車椅子へ移動するときには腰が痛くなることもあるし、入浴介護の時は汗をかいて大変です。でも、私はこの仕事が大好きです。
今までの生活を振り返ってみると、楽しいことばかりではありませんでしたが、辛いことや辞めたくなる時もありました。その時に相手のことを憎んだり、辛いからやめてしまえといって立ち止まっていたら何も進みません。今の自分もいなかったと思います。今この仕事をしてとっても良かったと思っています。辛いこともあったけれど良い仲間に巡り合えたことに心から感謝しています。毎日、利用者様の笑顔が私に力をくれます。私には私を助けてくれる先輩や優しい利用者様がいます。その人たちが私に勇気を与えてくれ、私は笑顔で前に進むことが出来ました。これが、私の宝物になりました。人との出会いが私を育ててくれました。これからこの日本にやってくる外国人が生活しやすくなるために力になりたいと思います。日本人も外国人もみんな同じ人間です。どこの世界に行ってもいい人と悪い人はいると思います。その中から、良いことは私のお守りにして、悪いことに負けないように向かって戦い、幸せを手に入れたいです。このように、同じような立場にある外国人にどんなお手伝いが出来るのかは分からないですが、いつか皆さんの力になりたいです。（会場写真を見ながら）これが介護の仕事の仲間と利用者様との写真です。最後になりますが、皆さんに聞きたいです。「私は今、日本の社会に溶け込もうとしています。皆さんはどのように溶け込みますか。」どうぞ、お聞かせ下さい。ありがとうございました。

4 番テーブル

ありがとうございます。メラニーさん、私もインドネシアから来ました。同じ国際結婚で、仕事もしました。私は、小学校の教師をしてきました。「皆さんはどのように溶け込みますか？」と言う質問でしたけど、相手のことを知ることが大事だなと思います。あともう一つは相手の意見を尊重して、外国人でもどなたでも意見を尊重していくという事です。

8 番テーブル

　こんにちは。高橋さんのお話、ありがとうございました。私は高校生です。８歳の時に日本に来て、高校に通う事になりましたけど、自分から相手に声を掛けたり、挨拶をすることは大事だと思います。分からない漢字などがあったら友達に聞いて、積極的にコミュニケーションを取ることが重要だと思います。ありがとうございました。

河内智之(日本)

　コミュニケーションを取ること、相手を知ることなどが出てきましたけれども、冒頭にも申し上げましたが、なかなかこのように外国人の方と集う場と言うのはそれほど日本では多くない、という意味では、このような場をこれからも続けて設けて日本人にこういった場を知ってもらうという事はすごく大事なのかなと思いました。

ベンジャミン・ブラウン（オーストラリア）

紹介に預かりました、ベンジャミン・ブラウンと申します。よろしくお願いします。私は今日、国や地域によっての多文化共生のかたち及び、自分の経験を通じて今日のテーマである“私にとっての多文化共生”について話したいと思います。今日、皆さん民族衣装がすごくお綺麗なのですが、自分はスーツで、こんな格好でいいのかと思いながらここに立っています。では、自己紹介から、始めます。１９８９年、オーストラリアのシドニーで生まれ、オーストラリアの父親と日本人の母親を持つダブルです。英語圏なのですが、ちなみに日本語名が神代征典（こうじろ まさのり）です。でも、こんな顔なんで神代征典というと全然ピンとこないと言われます。でも、このように私は生まれた時から家庭が２つの国の文化と言葉が入り混じった環境に生まれたため４歳ぐらいにはもうバイリンガルになっていました。日本語と英語とごちゃ混ぜに話していました。うちの家庭のルールとしてあったのは家では日本語、外では英語。なので、父親は家では全然しゃべっていなかったです。父は日本語がしゃべれないので。その後、ずっとシドニーに住んでいまして、シドニーのマッコーリー大学（Macquarie University）の国際学部を卒業した後に日本の自治体国際化協会・クレアという団体のジェットプログラムを通じて日本に来日しました。今は、川崎市役所で通訳・翻訳などの仕事をしています。来日してから、今で大体２年ぐらいになります。

さて、来日してから私はオーストラリアと日本の両国の多文化共生の在り方について学び、考え、比較することが出来て、現段階での個人的な結論に辿り着きました。私にとっての多文化共生とは“「和」が存在する社会”です。この「和」というのには２つの定義が自分の中であります。１つ目が、すべての人が国籍・人種に関係なく社会の一員として参加出来るための制度を通じて導く和。２つ目が、市民がお互いを尊重し人と人との間に相互理解がある権利の和です。もう一つ、ここであえて社会という言葉を使っていますが、これには理由がありまして、なぜかというと国や社会、地域によって背景、言葉、誰が住んでいるのか、需要がどれぐらいなのか、それによって多文化共生の定義が変わってくるからです。つまり、万能な共生の答えがないという事で、その社会における和は変わるものであると考えています。これが、私のシドニーでの友人たちとの写真です。多くの人種の人が住んでいるため、あまり日常的に多文化共生については考えていないんですね。既に多文化共生は達成しているだろうという所に生まれました。けれども、私が思うにただ多くの人種がその地域や国に住んでいるだけで多文化共生社会なのか、決してそうではありません。なぜかというと、オーストラリアでも今でも社会的な問題が生じていますし、民衆の間で暴動だってありますし、政治的に理不尽な制度も多くあります。そういう面で、一般的に当たり前と思われている多文化共生ですけれども、実はそうではない。自分の周りでもいじめや差別にあって孤立している子たちもいました。やはり、ハーフなので「お前、本当の白人じゃねーじゃん。」とも言われました。まぁ、こっちに来るとこんな顔なんで白人らしいのですけれども。その辺りは逆なんですね。孤立した時期が１３歳から１７歳ぐらいまでアジア系の人のみと友達をしていたんですよ。なぜかというとこの人たちが自分により近い存在のように感じられたからです。でも、大学に入ったぐらいからそんなことは関係なくなりました。オーストラリアは多文化共生とは国家的な価値観として国が制度化しています。（会場画面を見ながら）ここに書いてある、“オーストラリアの人々、オーストラリアの多文化共生制度”、こういうしっかりしたホワイトペーパーが国家政府から出されて州政府や地方自治体が取り組んでいます。さっきも言いましだけど、その地域の背景や需要によって、実際にどれだけ制度が導入されているのかは分かれますけれども、すべての人がオーストラリアに来豪する際には政府の補助金を得て英語を学べる権利がありますし、労働権利もありますし教育権利もあり

ます。また、医療の面では治療を受けることも可能です。もう一つここで言いたいのは難民制度と二重国籍が許されている国なんですね、日本と違って。こういう面では多文化共生の道を切り開こうとしている国では絶対的にあるんです。先ほども言ったように、国民が果たしてこれを全面的に受け入れて、価値観を乗り越えているかと言うと、まだそこまでは到達してはいません。

次に神奈川県の状況ですけれども、多くの人種は住んでいますけれども比率は非常に少ないため、あまり我々外国人の問題やアイデンタティが見えないところが多いと思うんですね、一般的に。つまり、ちょっとないがしろにされている傾向があると思います。でもその反面で、私は来日してから「共生」という言葉の定義についてより考えるようになったのです。なぜかと言うと、こっちに来て初めてマイノリティになったからです。オーストラリアにはハーフなんてのは周りにめっちゃくちゃいるんですよ。でも、こっちだとあんまりハーフにお会いした事がないんで少ないという事もあってマイノリティなのだと感じるようになりました。もう一つ、こっちにきて面白いなと思ったのが差別とかではなくて、逆に変な特別扱いを受けて不快感を覚えるというのが多いという事です。例えば、「日本語お上手ですね。」とよく言われます。これは、どうなんだという感じがするんです、個人的に。だって、日本人とオーストラリア人のハーフなんだから、日本語もしゃべれるし英語もしゃべれるしで、これは褒められているのか、どこか先生が小っちゃい子供をなでなでしている様な気持ちになっちゃうので不思議なんですね。また、これを言われると、もし自分が日本語を話している過程の中で間違えを言ったらやっぱりこの人は日本語がへたくそなんじゃないかと思われるのが結構、恐怖になってくるんですね。もう１つよく言われるのが、これは最近よく言われるんですけれども、「お前、本当は日本生まれじゃないのか？」という事です。嬉しいような、嬉しくないような良く分からない気持ちになるんですけれども。でも、自分にとっては来日する前から両国が祖国だと思っているんですね。だから、どっちが私の国で、帰らなければならないってことは全く意識しておらず、「オーストラリアにいつ帰るの？」と聞かれても「いやー、こっちも自分の国なんですけど。」と言い返すようにしています。このように、相手側は差別するという気はないのでしょうけれども、自分にとってはちょっと不快感を覚える発言があります。

制度の方に移りますが、日本では自治体によって非常に多文化共生の行われている事業や団体や行われている事が異なるというのに結構驚きでした。なぜかというと、国が設定したこれが多文化共生だという絶対的なものがないので、自治体によって異なるという認識なんですね。例えば、一般的なもので言えば教育相談、国際交流協会、住まいサポートセンター、外国人雇用サービスセンターというものがあります。けれども結局、国が大枠を作らないと自治体にそれは平等には行き渡らないものなので、これは是非、国家政府の人たちに定義をしてもらってそれに自治体が続くというのが一番良いと思うんですね。もう一つ、個人的にすごく不思議なのが少子化や高齢化が進むこの危機感が非常にある日本の社会の中で、なぜ１０年前、２０年前ぐらいに移民政策を作って移民を受け入れ始めなかったのか、が１つ。もう一つ、全然分からない制度が自分は元々、二重国籍だったんですけれど、日本国籍とオーストラリア国籍の２つを持っていました。今回来日するにあたって、ここにあるクレア・自治体国際化協会のジェットプログラムで来るためには、外国人としてでなければ来れないんですね。日本人としてではダメというのがありまして。どうせ２２歳でどっちの国籍か選ばなければいけなかったので、今は日本国籍を放棄してオーストラリア国籍しか持っていません。けれども、二重国籍が許されれば日本に来る前から日本にルーツがある人たちが自由に行き来出来ないのが非常に不思議です。

個人的に、今後必要であろうこととしては、多文化社会を促進する価値観が身近に感じられる制度なのかなと。オーストラリアの場合ですと、「もう多文化共生は出来ているよね。」とみんなが思っているため制度が見えていない。日本の場合は逆で、制度が自治体によって異なりすぎるため日常的に見えな

いので一般の理解まで及んでいないというのがあります。最初に「和」がある社会と言いましたけれども、自分が今まで見てきた社会の中で完全なる「和」が実現されている社会はありませんでした。もしかしたら、存在しないのかもしれない。でも、目的化して目指すべきだと思っています。（会場画面を見ながら）例えば、多文化共生社会がここだとします。和がある状態。今がこの真ん中ぐらいのここだとしたら、ここに近づくための努力をすることで絶対にこの上に近づくことが出来ると思うんですね。全く努力しないとむしろ低下してしまう。だから、この「和」があるというのを目的として進むべきだと思います。そのために必要なのは様々なパネリストと進行役からもありましたけど、人と人との間の繋がりが一番大事で、認知度を上げる草の根の共生を図ることが一番大事だと思います。こうすることで、下からの需要が上にあがり、上も制度を作ったり動かざるを得ない状況になると思うのです。

最後に、「多文化共生」とグーグル先生に入れて調べてみたんですけど「In each of us, there is a little of all of us」と書いてあります。「我々、個々人には他の皆と同じものが必ずあるはず」と、自分は理解して訳しましたけれども、本当にそうだなと思いました。そこで、皆さんへの投げかけなんですけれども、完全たる「和」が存在しないかもしれないが、目標として目指すべきと言いましたけれども、「和をどうやって作っていくべきなのか？」どうぞ。ご静聴、ありがとうございました。

河内智之(日本)

ベンジャミンさん、どうもありがとうございました。ググッと制度ですとか草の根の活動ですとか、最後に相応しいプレゼンテーションだったと思います。今の、質問なのですけど、もう少し説明してらえますか。

ベンジャミン・ブラウン（オーストラリア）

In each of us, there is a little of all of us、他の人にも必ず同じものがある、この同じものを見つけることで、多分「和」が生まれるのだと思っているのですけれども、その同じものとは？共通するものとはなんでしょうか？ということです。１つ例を挙げましょうか。例えば、誰しもが幸せになりたいとか、家族を大事にするという絶対的な繋がりが、どの国の人々にもある。それで、「和」が作られていく、といったような。

河内智之(日本)

なるほど。すごく噛み砕いてしまうと、その誰しもが持っている共有できる価値観などは何かという事ですね。その具体的なものは皆さんの中で何か、という事です。

３番テーブル

３番テーブルはブラジル出身、中国に繋がりがある、ペルー出身という様々な人の意見が出ました。今のベンジャミンさんからの質問に対して、みんなに聞いてみたのですが、「友達が欲しい」、「家族を守ろう、特に小さい子供を守りたい」という気持ちがきっと共通する価値観ではないかという意見や、「人は一人では生きていけない」、人との繋がりや友達が出来ることで「自分の成長できる、成長したい、変わりたい」という気持ちが共通しているのではないかという意見が出ました。たった一人、自分だけでは変わることは出来ないけれども、繋がりや、友達がいることで変わることが出来る。やはり、支えが人間には必要で、これには異なる国籍や性別、環境などに関係ない。という、話が出ました。

ベンジャミン・ブラウン（オーストラリア）

どんな人でも、どこの国の人でも何歳でも性別がどっちであっても、やはり友達・家族・一人では生きていけないという点で、支えがないと生きてはいけないという、それが今述べて頂いたことかなと思います。「和」が存在するためには、全員が周りに自分を支えてくれる人がいないと「和」を広げてはいけないので、遮断して「和」を広げさせなくするものを、制度的な面で取り除かねばならないなと思いました。やはり、草の根という意味では今日ここでテーブルの隣に座っている人との繋がりが「和」を広げていくことそのものだと思います。小さなことではありますが絶対に確実に広がっていくと思います。ありがとうございます。

2 番テーブル

人間が根本的にある感情や気持ちは、全人類一緒だと思うので、そこは共通するものであるという話が出ました。あと、相手を思いやる気持ちは必要だということに話はまとまりました。

ベンジャミン・ブラウン（オーストラリア）

今、「思いやり」と言う言葉が出ましたけれども、思いやりって結構日本人と日本の文化に根強く入っている価値観だと個人的には思っています。なのに、現状の日本での外国人への思いやりや、もっと言えば社会自体への思いやりがどうしてこんなに少ないのであろうという疑問を来日した時から感じていました。思いやりが大事、相手の立場に立って、とよく言われるのになぜ、我々はそれを受け入れられないのか、なぜ思いやりがないのかと思ったりします。どの国でもそうかもしれませんが、価値観として強くある国の割には思いやりが少ないんじゃない？思います。

河内智之(日本)

どうもありがとうございました。制度からという事と草の根の共生からという事で、両方向からの多文化共生の実現と道のりを考えさせて頂きました。最後に、本当に人間の本質に迫るような問い掛けで、皆さんも深いところを考えるといったことがあったのではないでしょうか。ベンジャミンさん、どうもありがとうございました。

パネルストからの発表と意見交換は以上で終了になります。今まで６名の話とテーブルの中でトークした中で、最後にこれだけは言いたいというご意見等、ございましたらどうでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、ベンジャミンさんどうぞ。

ベンジャミン・ブラウン（オーストラリア）

今日のパネリストの話でもありましたし、会場の皆さんもそうかと思うのですけれど、「私、まだ多文化共生の定義が何なのか分からない」とか、「ゴールが何なのか分からない」といったコメントが多かったんですけれど、今日この会場を出た後も考え続けて下さい。それが一歩です。あーすフェスタは年に１回しか行われていませんが、それでも多分化共生は切り拓くものだから、今後もずっと考えていって欲しいなと思います。

河内智之(日本)

ベンジャミンさん、ありがとうございました。初めに申し上げましたけれども、今回のフォーラムの

趣旨は“知ってもらう”という事でした。その人の生きてきた軌跡、人生そのものに様々な国籍の方に語って頂きました。企画、進行、議論がちょっとまとまりにくいかなという所があったのかもしれません。ただ、例えば“友達”をテーマに語ってくれた方もみえましたけど、外国籍の友達がいるから外国籍の方の事が分かり、あるいは、身近に母語について悩んでいるとかアイデンティティに悩んでいるという方がいるから、恐らくその人のためにどういう活動をしなければならないのかということになるわけですよね。どういう活動をしなければならないのかという、草の根の活動が、さっきベンジャミンさんも言っていましたけど、やがて大きな繋がりになって制度になっていくという事を信じていきたいと思います。６名のパネリストの方に自分の人生を語って下さいという事だけを、事前に僕の方から伝えて今日ここで発表してもらいました。恐らく「これ、語っていいのかな。」と思ったようなこともあったかと思うんですけれども、そこを乗り越えて自分をさらけ出して語ってくれたパネリストの皆さまにもう一度、大きな拍手をお願い致します。本当にありがとうございました。今回のこれは本当に小さな一歩かもしれないですけれども、この積み重ねで多文化共生社会が実現されることを、皆さんで実現させていきましょう。今日は本当に長い間、ありがとうございました。

徳野早苗（日本)

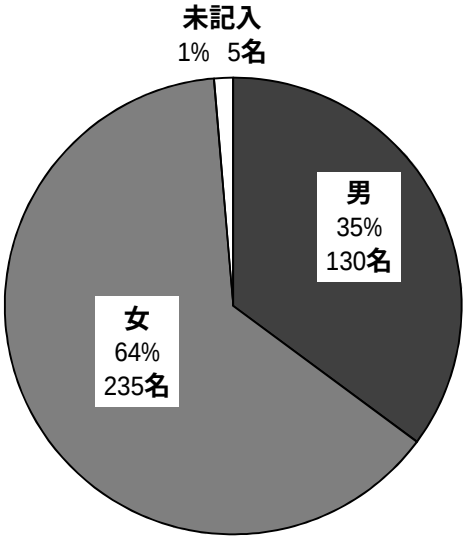
**　第２セッションのパネリストの皆さん、そしてテーブルについて下さった皆さん、最後までご静聴下さいました会場の皆さん、どうもありがとうございました。これで、外国籍県民フォーラムのプログラムをすべて終了致します。お帰りの際には、お手元のボードにアンケートがついていると思いますので、ご記入の上、係りの者にお渡し頂けると大変有り難いです。どうぞ、よろしくお願い致します。本日は本当にありがとうございました。**

4　来場者アンケートの結果

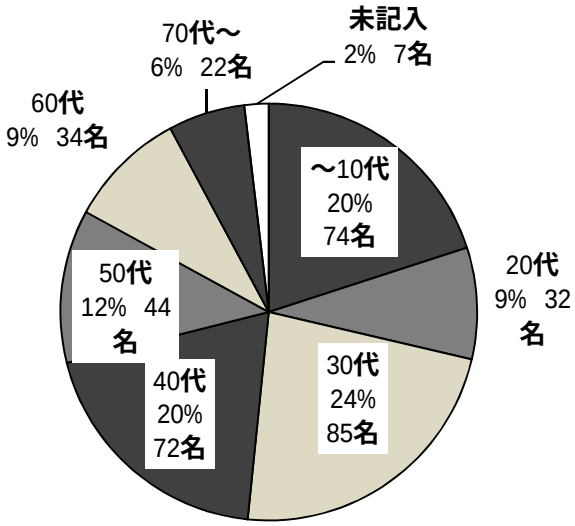
(回答者数:370名)

(1) 回答者の属性

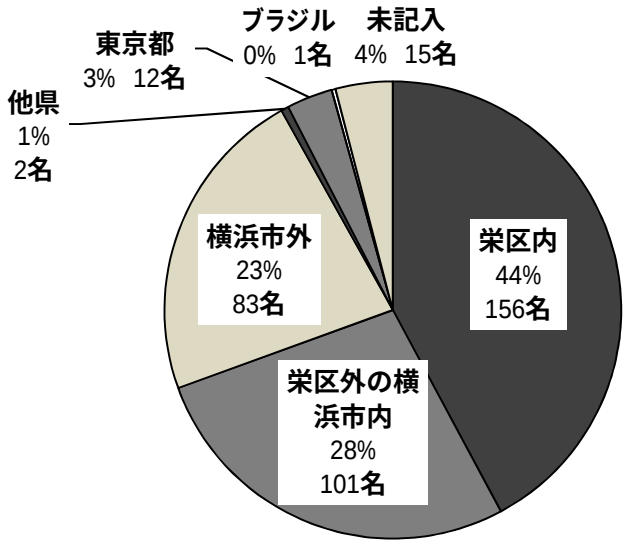
性　別



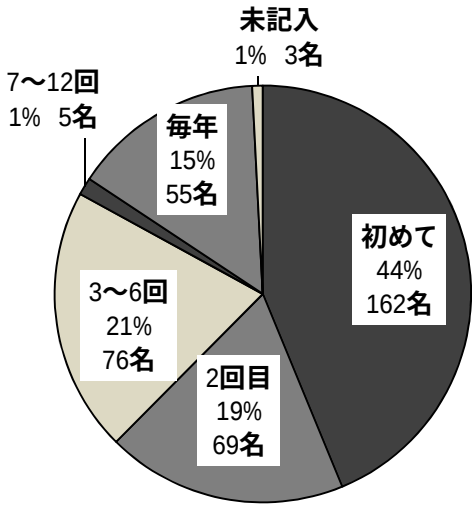
年　齢



住　所



来場回数



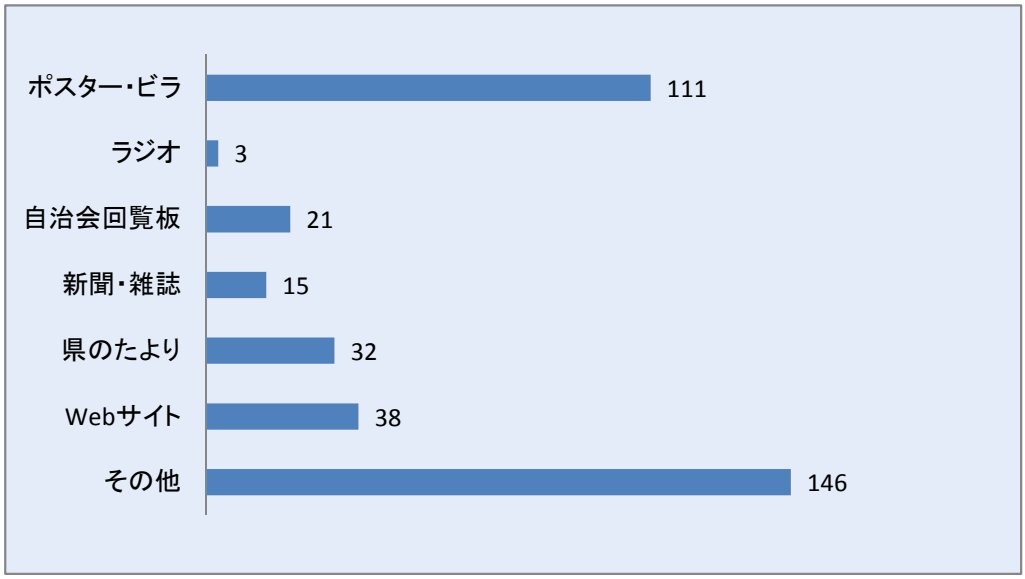
国籍・地域等　　(単位:名)

日本	中国	韓国・朝鮮	インドネシア	ブラジル	ペルー	ポーランド	モロッコ	未記入
341	8	7	1	1	1	1	1	9

（2）広報の結果

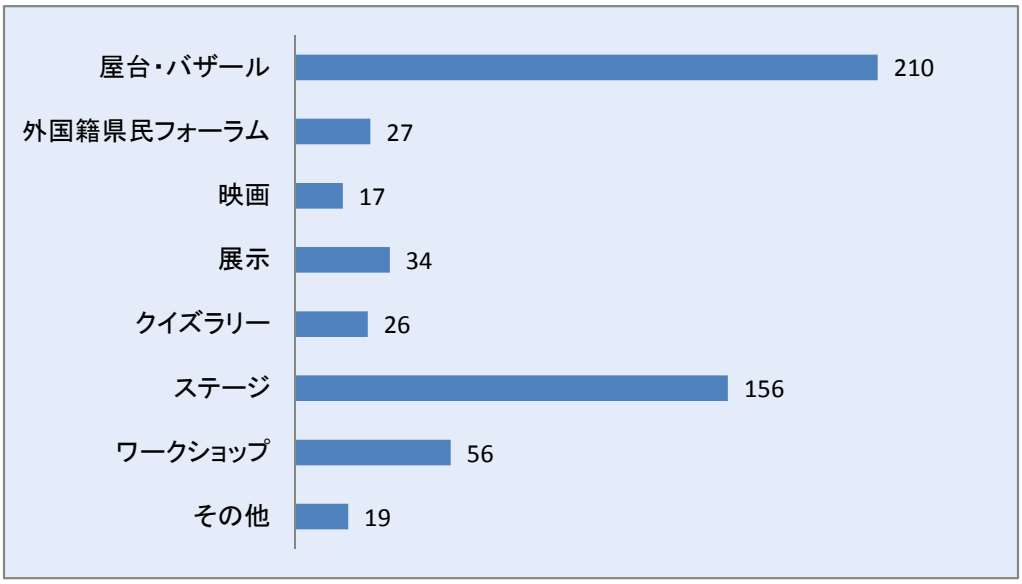
このイベントをどこで知りましたか？

（単位：名）



特に良かったプログラムは？

（単位：名）



アンケートコメント

肯定的なご意見	
1	スタンプラリーよりクイズラリーは難しくて楽しかった。世界の遊びも楽しい遊びばかりで楽しかった。
2	プラザホールでのケチャをはじめ、体験できるステージやイベントが今年はとても多く良かったと思います。来年も楽しみです。
3	春夏秋冬さんのステージ演奏がとてもよかった。
4	沢山の人たち（国籍）で成し得ているあーすフェスタはすばらしいと思います。これからも続けていってください。
5	バリ舞踊体験し楽しかった。来年からもこのようなプログラムがありましたら是非参加したいです。お知らせ下さい。
6	ステージが良かった。いろんな国に行けた気分で音楽を楽しめた。短い区切りなので子供でも入りやすい。
7	こんな国際色豊かな楽しいイベントをやっていらして嬉しく誇りに思いました。こんな風に国境を越え、みなが誰もが友人になれたら！と思います。ありがとうございます。ぜひ続けてほしい。
8	あまり知らずに誘われるままステージのみに来ましたが、うちも国際家庭なのでもっと早くに参加すればもっと楽しめたと思います。
9	来年は他の国（今回出していない）の所を見てみたい。
10	数年前と比べて、本当に内容が充実。わくわく感がアップしていると思います。ボランティアさんがよくやってくれて、うれしくなりますね。天気は1日よくなかったけれども、きもちのいいイベントと思います。皆で協力しあい、更に楽しいイベントにしていきたい。
11	とてもよいイベントでした。本郷台駅前での踊りなども見ていて異国へ出かけたような気分になれました。子供にもよい刺激となったようです。
12	ここ数年連続で来ています。毎年楽しみです。天気の良い2日目参加でした。屋台で色々な国の料理（今回はジャワ・インドネシア・アフリカ）を食べ、ｽﾃｰｼﾞで中国獅子にかまれてきました。切り絵のパンダがかわいかった。
13	子供達と楽しく1日を過ごせました。ありがとうございました。
14	舞台でいろいろ体験できてよかった。
15	子供と毎回楽しませてもらってます。毎回来てもまだ体験できてないものがあるので、これからも楽しみにしています。スタッフの方々ありがとうございます。
16	日本のことじゃなくて外国のことも知ったからうれしかったです。また２０１４年のに行きたいです。
17	いろいろあって楽しかったです。特に面白かったのはｸｲｽﾞﾗﾘｰです。2014年も行きたいです。
18	カポエラをみました。びっくりしました。
19	若い人たちが活躍しているのが良かった。会場がきれい。トイレが混まない。人がよさそう。海外の雰囲気が味わえて良い。
20	世界平和を望みたい。
21	昨年初めて子を連れてきました。とても楽しく今年も来ました。
22	すっごく楽しかったです。いろいろな国に行った気分になれてよかったです。
23	チェスをまたやりたいです。
24	体験活動がとても良かったです。子供たちの発表、いろいろな国の遊び、とても楽しかったです。見るだけでなく、かかわってみる、会場が一つになって盛り上がっていくのがとても素晴らしいです。
25	ステージで参加型が楽しかった。
26	日曜日のステージ（2：00～）を見させて頂きました。ケチャは全員参加型で楽しかった。ブラジルの踊りも参加者が舞台で体験出来て良かった。朝鮮学校の踊りは大変素晴らしく、アンコールをお願いしたい位でした。以上3点を拝見させて頂きました。大変楽しませていただきました。

アンケートコメント

肯定的なご意見	
27	タピオカミルクがおいしかったです。朝鮮舞踊は普段見ることがないので、見られて良かったです。美しかったです。ケチャもカポエラも面白かったです。
28	国籍を問題としながら、それを差別しないイベントは重要。これからも大切にしてほしい。若い力でそれを大切にしてほしい。本当に良いイベント。
29	アフリカなどの暮らしを少しでも知る事ができ、子供も一緒に考える事ができた。ブラジルの血が流れているうちの子はサンバやカポエィラで楽しめました。アフリカ音楽は私が楽しめました。ありがとうございました。来年も楽しみにしています。
30	ブラジルのサルサ、ボサノバのステージが最高でした！！
31	太鼓がすごく良かった！アフリカの太鼓も良かった！サンバ、他もすごく良かった。無料で見られるなんて幸福でした！
32	毎年楽しみにしています。ステージが特に好き。今年も会えたねの方、はじめましての方、うれしいです。楽しいです。テーマソングも素敵ですね。皆が仲良しになる地球を楽しみに期待をこめて。
33	来年以降もあーすフェスタかながわを開催願います。似たような催しはなかなかありません。
34	ステージだけでなく、屋台・バザールやクイズラリーなど小さい子供も楽しめるのでとてもいいと思った。
35	お客さんも楽しくできたので良かったです。屋台・バザールもすごく楽しかったです！
36	本当に素晴らしいイベントですね。皆さん、おつかれさまでした。
37	ケチャダンスの人たち、まじめさが伝わってきてかんどうした。Bagus!!Terimah Kasih
38	中国ししまい、チョーかわいかった。またぜひ見たいです。
39	朝鮮学校のおどり、よかった。
40	毎年楽しみにしています。可能なかぎり続けて下さい。お願い致します。
41	とても盛大なイベントで驚きました。世界の広さを感じ、その世界の中での自分自身の存在がちっぽけなものであり、つまらないことでくよくよしないで前へ進もうという勇気をいただきました。来年もまた来たいと思います。スタッフのみなさん、お疲れ様でした。
42	三曲会の演奏素敵でした。
43	今日、雨天で残念。しかし、来場者が集まって室内各会場を賑わせている感じ→結果オーライかも。
44	他の国の方が上手に、楽しそうに日本語を話されていて、参加されていた方々も楽しそうでした。言葉だけでもこんなに楽しく遊べるのだと発見でした。
45	影絵がすばらしかった。
46	子供が興味深くステージを見ていました。舞台裏も見れて面白かったです。ありがとうございました。
47	インドネシアの影絵がとてもユニークで面白かったです。そのほかの展示やワークショップもひとつひとつに工夫があって、楽しみながら学ぶことができました。
48	毎年バザールでほしい物を主にユニセフで買うのを楽しみにしています。このようなフェスティバルでみんな仲良しなのに、世界に戦いがあるのはなぜと思ってしまう。
49	神奈川朝鮮学校の演奏が良かった。とっても気分が良くなった。
50	もっと早く知るべきだったと思う。
51	シネマコレクションを見られて良かった。良い映画だったので来てよかった。ワールドバザールもよかった。ただ好きな中国の雑貨があるとよいと思う。初めてきたが来年も楽しみ。ありがとう。楽しかったです。
52	国際都市、横浜にふさわしく、これからも世界の人々、文化交流に力を入れて下さい。応援しています。

アンケートコメント

肯定的なご意見	
53	毎年楽しみに来ています。他国のことを知るのにとてもたのしんでます。音楽･ダンス･風習をたくさん知りたいです。
54	バンブーダンス･中国のコマができて、楽しかった。
55	普段は交流できないような文化や人に出会うチャンスがあった。
56	ケチャが良かった。
57	プラザホールの催し物や5階での子供の学校の発表が良かった。
58	ステージのスタッフさんがやさしかった。
59	子供が楽しめるゲームや店、スタンプラリーがある。
60	トランポリンが楽しかった。
61	初めて見る展示物が面白かったです。
62	世界の楽器がさわれた。
63	係りの人達がとても優しかった。
64	司会者のトークがよかった。
65	多文化国籍のイベントに初めて参加できた。
66	体験型プログラムが豊富だったので、楽しかった。
67	子供達が各文化にふれる機会が多くあった。
68	中国こまでたくさん遊べた。
69	普段見られない物が沢山あり、直接交流できた。
70	友人に会えた。日本人に会えた。
71	多くの国の人、文化と触れることができた。
72	最後の舞台がとってもよかった。
73	クイズラリー･みんなでわいわいｽﾃｰｼﾞがにぎやかで楽しかった。
74	音楽会やｸｲｽﾞﾗﾘｰ、全部楽しかったです。
75	ふあふあに子供が喜んだ。
76	お茶　パラグアイとカレー　日本茶
77	短時間しか出られなかったが、ﾌｫｰﾗﾑは大変考えさせる意義深いものだったと思います。
78	民族衣装の試着が楽しかった。
79	ピエロがかわいかった。
80	ししまいに会うのが楽しかった。
81	勉強になった。
82	色々な国のことや、地らいについて知れた。
83	普段見られないもの、食べ物が多くある。
84	無料で子供が楽しめた。風船是非。
85	アジアの料理を食べれて、楽しかった。
86	ここでしか食べられない物でとてもおいしかった。
87	屋台･ﾊﾞｻﾞｰﾙ。特にｺﾎﾟﾄｯｺ。
88	世界の遊び、けっこう楽しめた。
89	いろいろな外国の文化などを知ることがだきた。

アンケートコメント

肯定的なご意見	
90	1階が楽しかった。飯がうまかった。あめ細工があるから。チェスがあるから。楽しかった。
91	打楽器を自分で楽しめた。伝統芸能ｽﾃｰｼﾞ。
92	ワールド屋台がオイシー。舞踊がよかった。
93	カポエラ面白いです。
94	国を問題としないイベントだからよかった。
95	各国の民族のダンスが見れて、楽しかった。
96	いろいろな文化を知れた。楽器にふれられた。音楽もフリーで最高！！
97	ケチャが楽しかった。
98	バリダンス･ケチャックは面白かった。
99	プラザホールのステージ、ギャラリーの展示が良かった。
100	ステージが参加型だったので、楽しかった。
101	実際海外を歩いているようであったため、楽しかった。
102	バラエティに富んでいて、みんな笑顔になれる！
103	インドネシアが好きだから楽しかった。
104	民族衣装がきれいでした。リズムの特徴も面白かった。
105	ダンスが見れて良かった！
106	和太鼓は素晴らしかった。
107	知らないことが知れた。
108	昨年に比べ充実している。
109	みんなでわいわいステージ(参加型が)
110	子供も興味深く見ていた様子です。
111	アンデスの曲、すごく良かった。
112	ネパールのダンス、奥深いアンデスの音楽。
113	声のかけあいが面白かった。リズムが難しい。
114	かげえが面白かった。
115	色々な国の文化にふれられた。
116	海外のおもちゃ遊びが楽しかった。
117	日本にいながら、異国を旅している気分が味わえた。
118	ゆったりしている雰囲気。多文化を気軽に分かり易い。
119	毎年楽しみに。異文化というが、共通のものを感じられるのが好き。
120	ﾌｫｰﾗﾑ、考える機会になった。
121	色々な国の人と仲良くなった。
122	アジアの国の音楽にふれられた。
123	若いエネルギーと各国のつながりを感じた。
124	ネパールの踊りが良かった。
125	様々な国の音楽や食べ物を楽しむことができた。
126	民族楽が多く、図書室も資料が充実していました。

アンケートコメント

肯定的なご意見	
127	アフリカについて興味があったので、楽しかった。
128	ネパールダンスの参加型がリラックスできて、リフレッシュできてよかった。
129	アコースティックステージが異文化ネタが勉強になった。

ボランティアに関する感想	
1	初めてのボランティアでしたが、とても楽しかったです。またやりたいと思いました。
2	はじめてボランティアに参加しましたがみんなやさしくてしっかりしていて、でも個性的ですごく楽しくできました。またボランティアに参加したいです。
3	ボランティアの方々に感謝。いながらにして各国めぐりが出来ました。
4	とっても楽しかったです。来年はぜひボランティアで参加したいと思います。
5	様々な国の様子を知る事ができ、国際関係、外国に興味のある私にとってはとてもよい学びの環境でした。午前中はリリスの方でボランティアをやらせていただいたのですが、多くの方の協力のもと1つのイベントが成り立っている事を改めて感じました。小さい子供から年配の方、外国籍の方、外国に興味のある方等々、色々な人達がこのイベントに来場してくれ嬉しいですね。韓国の衣装やインドネシアの衣装も着れ、民族衣装体験もでき良かったです。
6	ボランティアとして午前は活動させていただきました。午後は散策することができて良かったです。
7	若い人がたくさんボランティアをしてくださって、ありがたいと思います。
8	ボランティアとしてこちらに来ましたが、たくさんの文化と触れ合てよかったです！ また来たいと思います。
9	ステージの補助の仕事をやらせてもらえて楽しかった。
10	ボランティアに参加して、色々な子供達と触れることができた。
11	にぎやか。ボランティアの方の心配り。
12	高校生ボランティアがさわやかでした。
13	ボランティアとして参加できたが、もっといろいろ見たかった。
14	ボランティアの人たちがいいかんじでした。
15	また来年来たいなと思いました。クイズのゴールにいたボランティアの男の子たちが感じよかったです。（12日2時前後）

ご意見・ご提案・ご要望	
1	バザールは雨の時わかりやすいようにしてほしい。屋台も雨にぬれないようにしてほしい。食べ物に袋・ラップとかしてをしてほしいと思いました。
2	クイズラリーが楽しかったです。他にもいろいろな階に行って探検したら、より楽しいと思います。
3	とても有意義な企画と思うが、告知が足りないと思う。
4	屋台に店名が表示されていないため、パンフレットを見ながら目的の店を見付けることが困難だったことが少し残念でした。
5	座るベンチやイスがもっとあれば便利だと思いました。
6	全体的に子供が楽しめるイベントが多いので、いつも楽しみにしている。トランポリン等これからも続けてほしい。
7	屋台がメインになっているようですが、他のプログラムも原稿を大きくしてはいかがでしょうか？
8	屋外フードコートの机の配置ですが、狭くてわざわざ座っている人の後ろを通らなくてはならなかったのが少し煩わしく感じました。

アンケートコメント

肯定的なご意見	
9	毎年楽しみにしているが、食べ物のエリアが混雑している。改善できたら尚良いと思う。
10	パンフがムダに立派すぎる！体験ものが子供にとても喜ばれる！世界の衣装があまりに奥地で気づかれずにもったいない。いい場所だったら、まちがいなく人気の企画なのに。
11	開会式の実行委員の紹介で演奏の音が大きくて司会者の声が全く聞こえなかった。実行委員会あってこの催しではないか？演奏の音を小さくできないのか？または音なしで！
12	色々体験できるところが良いと思った。ただ、勉強会のようなものは午後にやってほしかった。
13	春と秋に行ってほしい。
14	これだけのフェスタ、もっと宣伝しないともったいない。
15	スンカが楽しかった。パンフレットが多すぎてもったいない感じがしました。
16	もう少し、写真・地図を増やし、知識、体験が拡がるようになればもっと良いと思います。
17	もう少し効率よくすれば良いと思います。
18	駅からあーすぷらざまでの道が遠方地から来た人にわかりにくいかん。
19	もっと他の国も招待して屋台をふやしてほしい。楽しかった。
20	今後、続々発展させる事を希望します。特にステージを重視してもらいたい。又、フードコーナーも更に充実してほしい。
21	土曜日は雨で残念でした。フード屋台など、屋内でも何とかならないかなと思います。
22	あーすフェスタには大変興味があります。早めにパンフレット（最初のちらし）におおまかなステージ案内をしてほしい。当日まで分からず、天気次第で決めてしまう。わかっていたら、雨の中でもステージを見に行ったのに。皆様、2日間ご苦労様でした。感動をありがとう。
23	屋台ではベジタリアンやハーラルのマークを分かり易くつけて頂けるとありがたいです。
24	冷房がちょっと寒かった。（12：20～いたので）後半。
25	楽しかった。また来たい。特に屋台が多く出ており、とてもよかった。雑貨が少し少なかったので、もう少しほしいとおもいました。
26	どこで何をやっているか分かりづらい。見たいものがどこにあるか分からず、みることができなかった。すべてのプログラム配置図が欲しい。
27	良いお天気で良かったです。もう少し日差しをさけられる場所があるとうれしいです。
28	とても楽しかったです。来年も楽しみにしています！お祭り気分が夜まで続いてくれたらと思いました。→屋台・バザールだけでも夏祭りみたいに夜も営業してみては？これだけ魅力のあるイベントなので、駅前の広場も利用して屋台を出すとか、屋外ライブをすれば、もっといろんな人に参加してもらえるのではないかと思いました。こうやって気軽に異文化交流できるフェスタっていいですね。
29	全体のテーマは？以前の10周年とか、こどもとか、今回は？わからない。開会式、実行委員紹介、司会者の声が聞こえない。ステージのテーマ別はよかった。「琴とかやぐむ」こうした試みが良かった。
30	屋台で、テーブルにふきんを置いてほしかった。
31	外国籍県民フォーラムも見てみたかったが、時間が合わなくて残念。午前中にやっていただけたら良かった。アイランドステージのプログラムがなかった（あるいは見つけられなかった）ので、もっと具体的な説明が欲しかった。
32	バザールの案内かもっと分かりやすいほうがよかったです。（5階の）
33	食事のテーブルは通路が狭いので建物側にも通路を作っていただければスムーズかと思いました。
34	雨だったのでお店が分からなかった。いつもは外なので。

アンケートコメント

肯定的なご意見	
35	大人が体験できるプログラムをもう少し。
36	母の日なので母の日用のアレンジメントとかあったら良かった。
37	もっと色々なワークショップがあったらいい。
38	1歳児がいるので、子供がもう少し楽しめるといい。
39	心なしかちょっと音楽イベント、踊り等が少なかった気がする。
40	雨。ﾜｰﾙﾄﾞﾊﾞｻﾞｰﾙの5階は無理。客には分からない。ｱﾄﾘｳﾑにすべき。
41	どこで何をやっているのがよくわからない。
42	知り合いが多く、でもすごいゴチャゴチャしてた。
43	受付がよかった。店屋さん、もっと安くね。

否定的なご意見	
1	難しいところがあった。
2	ステージで遊んでいた子供が落ちて泣いていた！親はもっと注意してみてほしい！！危ない！
3	料理教室とか世界の料理の展示をやってほしい。わいわいステージ、司会がテンション高くて気持ち悪い。他の人にかえてほしい。
4	売店はよかった。映画はよくなかった。
5	毎年のことで少し飽きた感が・・・
6	人が多すぎる
7	毎年同じ
8	去年の方がよかった。
9	フードイベントが混んでいた。
10	楽しむものが少ない
11	15時過ぎてから入場したのでイベントがおわってました。
12	遅く来場してほとんど終っていた。
13	時間切れですべて終わってた
14	雨天は残念。

５．あーすフェスタかながわ2013　企画委員会名簿

あーすフェスタかながわ2013に携わった企画委員を、部会ごとに紹介します。

●企画委員長・副委員長

役職	氏名	所属団体等
委員長	劉功義（りゅうこうぎ）	
副委員長	鄭榮誠（ちょんよんそん）	在日本大韓民国青年会神奈川県地方本部
	金照華（きむちょふぁ）	在日本朝鮮青年同盟神奈川県本部
	小澤洋香（おざわひろか）	横浜華僑総会
	中村ノーマン（なかむら）	多文化活動連絡協議会

●各部会（2013年５月12日時点）（☆印は部会長です）

○フォーラム部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆Benjamin　Brown	川崎市総務局 国際施策調整室	金理恵（きむりへ）	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部
徳野（とくの）　早苗（さなえ）	あーすぷらざ 多文化共生・情報班	朴勇俊（ぱくよんじゅん）	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部
加藤（かとう）　佳代（かよ）	あーすぷらざ 外国人教育相談	藤代（ふじしろ）　将人（まさひと）	町田国際交流センター
宮田（みやた）　祐磨（ゆうま）	学生	水山（みずやま）　哲之介（てつのすけ）	
金子（かねこ）　恵美子（えみこ）	シネマアース	園田（そのだ）　明日香（あすか）	コス援護会
丸谷（まるたに）　士都子（しづこ）	特定非営利活動法人 地球の木	河内（かわち）　智之（ともゆき）	あーすぷらざ 多文化共生・情報班
小野（おの）　了司（りょうじ）		斉藤（さいとう）　香菜（かな）	学生
裵安（べいあん）	かながわ外国人すまい サポートセンター	伊佐（いさ）　リスレン	特定非営利活動法人 在日カンボジアコミュニティ
長谷川（はせがわ）　真（まこと）	ラテンアメリカ青少年の会	高江洲（たかえす）　将行（まさゆき）	
中村（なかむら）　ノーマン	多文化活動連絡協議会	高野（たかの）　浩一（こういち）	江ノ島アジア映画祭実行委員会
安絵梨（あんふぇり）			

担当プログラム等

外国籍県民フォーラム、外国につながるこどもたちの教室紹介、シネマコレクション

○ワークショップ部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆山田　泰一		藤分　治紀	（公財）かながわ国際交流財団
肥野　梓	学生	梅田　玲子	神奈川県立国際言語文化アカデミア
前田　綾	学生	小西　永里子	（公財）大和市国際化協会
張恵珠	在日本朝鮮青年同盟神奈川県本部	當間　智雄	あーすぷらざ地球学習班
金玄虎	在日本朝鮮青年同盟神奈川県本部	吉田　悦子	あーすぷらざ地球学習班
髙橋　清樹	CEMLA、多文化共生教育ネットワークかながわ、共学舎		

担当プログラム等

世界のあそび場、せかいのわらべうた（こどものあそび歌）、せかいのおちゃ、せかいのこうさく、せかいのスパイス、せかいの音と踊り

○屋外部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆黄帥烈	在日本朝鮮青年同盟神奈川県本部	朴載守	在日本朝鮮青年同盟神奈川県本部
内山　温子	JSCPR (The Japan Society for Cult Prevention and Recovery)	遠藤　晃	
曺壽昭	特定非営利活動法人民団国際協力センター	朴國遠	特定非営利活動法人民団国際協力センター
孔連順	神奈川朝鮮学園オモニ会連絡会	森田　誠二	あーすぷらざ総務班
小崎　紗織	あーすぷらざ総務班		

担当プログラム等

世界屋台村、ワールド・バザール、アイランドステージ、クイズラリー、大道芸

○交流展示部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆小澤　洋香	横浜華僑総会	溫耀権	横浜華僑総会
全艷栄	横浜華僑総会	割田　直樹	あーすぷらざ 多文化共生・情報班
藤由　かおり	あーすぷらざ 多文化共生・情報班	勝村　広樹	学生
殷龍洙	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部	金泰洙	在日本朝鮮青年同盟 神奈川県本部
高橋　鎭雄		笠原　航	神奈川県国際課
荻野　かほり	神奈川県国際課	沼田　美穂	神奈川県国際課
中野　幸昌	独立行政法人 国際協力機構 横浜国際センター	宮本　寿美	独立行政法人 国際協力機構 横浜国際センター

担当プログラム等

ワンダフルアフリカ、神奈川県と友好都市の紹介、天まであがれ！世界のたこ、民族楽器に触れてみよう、民族衣装を着て撮影会、世界一周の船旅、世界の絵はがき
【JICA横浜・神奈川県国際課　合同特別企画】アフリカを身近に感じよう！～もうすぐTICAD V（第5回アフリカ会議）～、カナガワから世界へ！世界からカナガワへ！

○ステージ部会

名前	所属団体等	名前	所属団体等
☆金載旺	在日本朝鮮青年同盟	本田　玲子	あーすぷらざ 多文化共生・情報班
金銀珠	在日本朝鮮青年同盟	増田　勇希	あーすぷらざ 地球学習班
李相哲	特定非営利活動法人 民団国際協力センター	長谷川　亜美	バリ舞踊バスンダリ
鄭榮誠	在日本大韓民国青年会 神奈川県地方本部	村岡　宏太	栄区民文化センター （リリス）
李沙栄	在日本大韓民国青年会 神奈川県地方本部	小林　智佳	学生

担当プログラム等

アコースティックステージ、親子でわくわくステージ、みんなでわいわいステージ、フィナーレ

６．開催経過

あーすフェスタかながわ2011・2012に係る実行委員会等の開催経過です。

１　実行委員会

第１回　日時：2012年11月14日（水）14：00～15：00
会場：あーすぷらざ大会議室
内容：あーすフェスタかながわ2013実行委員会設置要領(案)について
実行委員会役員の選出について
あーすフェスタかながわ2013の実施概要(案)について
あーすフェスタかながわ2013実施予算(案)について

第２回　書面表決
内容：あーすフェスタかながわ2013実行委員長の選出について
※実行委員長であった、神奈川県 県民局長の異動のため。

第３回　日時：2013年４月26日（金）15：00～16：00
場所：あーすぷらざ大会議室
内容：あーすフェスタかながわ2013最終企画(案)について
あーすフェスタかながわ2013補正予算(案)について

第４回　書面表決
内容：あーすフェスタかながわ2013収支決算について
あーすフェスタかながわ2013実行委員会解散について

２　企画委員会

第１回　日時：2012年11月15日（火）19：00～21：00
場所：神奈川韓国会館
内容：あーすフェスタかながわ　関係組織や流れについて
企画委員長・副委員長について
あーすフェスタかながわ2013について

第２回　日時：2012年12月13日（木）19：00～21：00
場所：横浜華僑総会
内容：今後の流れについて
各会議の役割の確認
企画案と部会の枠組みについて

第３回　日時：2013年１月24日（木）19：00～21：00
会場：在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部
内容：全体協議

行程確認、チラシデザイン、予算、全体テーマ、メーリングリスト等の利用
について、部会競技結果の報告
部会別協議

第４回　日時：2013年２月28日（木）19：00～21：00
会場：神奈川韓国会館
内容：全体協議
チラシデザイン、全体テーマ、部会間の連携企画について
部会協議結果の報告
部会別協議

第５回　日時：2013年３月14日（木）19：00～21：00
会場：横浜華僑総会
内容：全体協議
広報、当日ボランティア、部会協議結果の報告
部会別協議

第６回　日時：2013年４月４日（木）19：00～21：00
会場：在日本朝鮮人総聯合会神奈川県本部
内容：全体協議
会計規則、屋台・バザール関係、当日ボランティア
駅前広場の利用、部会協議結果の報告
部会別協議

第７回　日時：2013年４月25日（木）19：00～21：00
会場：神奈川韓国会館
内容：全体協議
当日に向けた全体での共有事項
部会別協議について

第８回　日時：2013年５月31日（木）19：00～21：00
会場：横浜華僑総会
内容：全体協議
アンケート結果、正副委員長の振り返り報告、
部会別振り返りの報告、全体での振り返り

３　各グループ（フェスタ2013）

（１）フォーラム部会

第１回　日時：2012年12月7日（金）19:00～21:00
場所：かながわ県民センター12階
内容：フォーラムの原点とは。
今後どのように盛り上げるか。
対象はだれか。
何を伝えたいか。
以前行った企画でよかったものは。
神奈川県内での外国人ネットワークについて　など

第２回　日時：2013年1月10日（木）19:00～21:00
場所：かながわ県民センター12階、迎珍2階
内容：神奈川県職員　金井さんからのお話　（フォーラムの原点・趣旨等）
フォーラム部会で行う企画についての検討および主担当・副担当決め

第３回　日時：2013年2月5日（火）19:00～21:00
場所：かながわ県民センター　12階
内容：各企画の進捗状況
プレイベントの企画、当日の企画

第４回　日時：2013年2月22日（金）19:00～21:00
場所：かながわ県民センター　12階
内容：プレイベントについて
外国籍県民フォーラムについて

第５回　日時：2013年3月5日（火）19:00～21:00
場所：かながわ県民センター　12階
内容：予算の再精査
各企画の進捗報告

第６回　日時：2013年3月19日（木）19:00～21:00
場所：かながわ県民センター　12階
内容：プレイベント関連
外国籍県民フォーラムについて

第７回　日時：2013年4月8日（月）19:00～21:00
場所：かながわ県民センター　12階
内容：4/20　プレイベントについて
アイランドステージでのPR希望タイム　時間と内容
4/7　学習会プレイベント ふりかえり

教室紹介企画について
外国籍県民フォーラム企画について
当日用のチラシについて

第８回　日時：2013年4月26日(金）19：00～22：00
場所：かながわ県民センター12階＆10階
内容：当日の企画について
挟みこむチラシの確認
フェスタ当日の全体の流れについて

第９回　日時：2013年5月21日(金）19：00～22：00
場所：かながわ県民センター12階＆10階
内容：フェスタふりかえり

（２）ワークショップ部会

第１回　日時：2013年1月16日（水）19:00～21:30
場所：公益財団法人かながわ国際交流財団本部
内容：部員の連絡先の確認
企画内容について意見交換
企画委員会で企画内容の説明に使用する説明資料の執筆分担

第２回　日時：2013年2月14日（木）19:00～21:00
場所：かながわ県民センター9階
内容：世界の遊び場についての情報共有
展示交流部会との企画内容調整
あーすフェスタサブテーマの必要性について

第３回　日時：2013年3月8日（金）19:00～22:45
場所：公益財団法人かながわ国際交流財団本部
内容：企画内容の確認
予算の調整
広報について検討
チラシ作成のスケジュール決定

第４回　日時：2013年5月21日（火）19：00～21：20
場所：公益財団法人かながわ国際交流財団本部
内容：あーすフェスタ当日のふりかえり

（３）屋外部会

第１回　日時：2013年1月8日（火）19：00～21:00
場所：かながわ県民センター
内容：企画内容について意見交換

第２回　日時：2013年2月15日（金）19：00～21:00
場所：かながわ県民センター
内容：実施企画の内容検討

第３回　日時：2013年3月12日（火）19：00～21:00
場所：かながわ県民センター
内容：企画内容について意見交換
必要予算・物品について意見交換
あーすフェスタサブテーマの必要性について

第４回　日時：2013年3月29日（金）18：30～21:00
場所：かながわ県民センター
内容：企画内容について意見交換
必要予算・物品について意見交換

第５回　日時：2013年4月19日（金）19：00～21:00
場所：かながわ県民センター
内容：各企画の詳細確認・検討

第６回　日時：2013年5月31日（金）18：00～19:00
場所：横浜華僑総会
内容：あーすフェスタふりかえり

（４）交流展示部会

第１回　日時：2013年1月8日（火）18：30～21:00
場所：かながわ県民センター12階
内容：自己紹介
企画について意見交換　等

第２回　日時：2013年2月14日（木）19：00～21:00
場所：かながわ県民センター12階
内容：企画の調整、担当者の決定
他部会との連携について
予算について

第３回　日時：2013年3月8日（金）19：00～21:00
場所：かながわ県民センター12階
内容：企画の調整
会場の配置について
予算、必要備品について

第４回　日時：2013年4月1日（月）19：00～21:00
場所：あーすプラザ会議室
内容：企画の調整
会場の下見、使用事項について

第５回　日時：2013年4月23日（火）19：00～21:00
場所：かながわ県民センター12階
内容：企画の調整（最終確認）
会場の配置、予算、備品等について（最終確認）
クイズラリーの問題（最終確認）
準備、当日の仕事分担について

準　備　日時：2013年5月7日～5月10日
場所：あーすプラザ･リリスギャラリー
内容：各企画の展示準備、調整　等

第６回　日時：2013年5月28日（火）19：00～21:00
場所：横浜華僑総会2階会議室
内容：部会の反省、意見交換
フェスタ全体の反省

（５）ステージ部会
第１回　日時：2013年1月16日（水）19：00～21:00
場所：神奈川韓国会館4F
内容：全体テーマ、コンセプト設定
2日間のテーマ、内容、担当
その他（出演団体について）

第２回　日時：2013年2月6日（水）19：00～21:00
場所：神奈川韓国会館4F
内容：あーすフェスタテーマについて
各企画、出演者確認
部会間の連携、予算について
テーマソングの多言語化について

第３回　日時：2013年2月19日（火）19：00～21:00
場所：神奈川韓国会館4F
内容：各企画についての検討
出演者、謝金の確認
タイムスケジュール確認

第４回　日時：2013年3月11日（月）19：00～21:00
場所：あーすプラザ
内容：各演目詳細確認
ボランティア人数、役割確認
フォーラム部会との連携について

第５回　日時：2013年4月1日（月）19：00～21:00
場所：あーすプラザ
内容：各演目詳細確認
出演者詳細確認
司会台本、チラシ作成について
テーマソングの多言語化について

第６回　日時：2013年4月19日（金）19：00～21:00
場所：神奈川韓国会館4F
内容：各演目、出演者詳細確認
司会台本、チラシ確認
企画委員当日役割確認
テーマソングの多言語化について

第７回　日時：2013年5月1日（水）12：00～18:00
場所：あーすプラザ
内容：司会打ち合わせ、詳細確認

7．収支報告

あーすフェスタかながわ2013　決算

1　収入の部

(単位:円)

項目		当初予算額	補正予算額a	決算額b	増減 b-a	摘要
主催者負担金		1,300,000	1,200,000	1,200,000	0	
	あーすネット	200,000	200,000	200,000	0	
	神奈川県	600,000	600,000	600,000	0	
	JICA	500,000	400,000	400,000	0	
協賛金		1,460,000	1,325,000	1,325,000	0	
出店協力金		690,000	690,000	730,750	40,750	屋台、バザール出店者からの出店料
繰越金		280,739	280,739	280,739	0	あーすフェスタ2012からの繰越金
雑収入		40,000	40,000	45,993	5,993	ワークショップ参加費、銀行利子等
合計		3,770,739	3,535,739	3,582,482	46,743	

2　支出の部

(単位:円)

項目	当初予算額	補正予算額b	決算額b	増減 b-a	摘要
会場設営費	1,000,000	910,000	902,632	▲ 7,368	テント・会場装飾品借用料等
プログラム運営費	1,780,000	1,625,000	1,405,616	▲ 219,384	ゲスト謝金、機器・什器レンタル料、消耗品等購入、チラシ・ポスター等
全体運営費	880,000	880,000	844,919	▲ 35,081	保険料、ボランティア昼食代等
事務局運営費	110,739	120,739	115,999	▲ 4,740	連絡通信費、その他事務経費
繰越金	0	0	313,316	313,316	あーすフェスタかながわ2014へ繰越
合計	3,770,739	3,535,739	3,582,482	46,743	

あーすフェスタかながわ 2011 及び 2012 において、ステージ部会の尽力により、2 年がかりで、あーすフェスタの公式テーマソングが製作されました。

あーすフェスタかながわ 2011 に tomoko さんによる素晴らしい楽曲が完成、あーすフェスタかながわ 2012 に歌詞を公募し、47 作品の中から選ばれたのが、刈川圭祐さん作の「世界をつなぐ奇跡」でした。

※このテーマソングは、あーすフェスタかながわのホームページで視聴できます

→ http://www.earthplaza.jp/earthfesta/themesong.html

あーすフェスタ公式テーマソング

「世界をつなぐ奇跡」

作詞：刈川圭祐　　作曲：tomoko

今ここに　集まった　それぞれの　宝物

人は皆　違うから　　お互いを　愛せるの

巡り逢えた　この奇跡

私たちを包んで　優しい笑顔になる

あなたのこと教えて　私のこと教えよう

今世界がここで　繋がる

どんな場所で　生まれたの　どんな言葉　奏でるの

不思議だね　違うのに　似ていると　感じるの

巡り逢えた　この奇跡

70億の中で　小さく輝いている

言葉にできなくても　想いは伝わるから

今世界をここで　繋げよう

さあ行こう　手をつなぎ　いつまでも　私たちは友達

今世界をここで　繋げよう　繋がる

5/11（土）

外国籍県民フォーラム

いっしょに話そう！これからの かながわ！

～わたしにとっての多文化共生～

１hour session×2＋ステージ

おまつりだけじゃ

ものたりない！

複数の国籍のパネラーが登場し、皆さんと一緒に「人との繋がり」「多文化共生社会とは？」「実現への道は？」「本当に可能なのか？」などを語り合います。各セッションは１時間。合間に農楽演奏もあります。お気軽にご参加ください。　申込不要　入場無料

●プログラム　開場13：00

【セッション１】13：30～14：40
金理恵（きむ りへ/コリア）
宮田祐磨（みやた ゆうま/にほん）
高山由美（たかやま ゆみ/ペルー）

【ステージ出演】14：40～15：20
横浜右道農楽　～朝鮮半島に古くから伝わる伝統芸能～

【セッション２】15：20～16：30
徳橋功（とくはし いさお/にほん）
高橋メラニー（たかはし めらにー/フィリピン）
Benjamin Brown（べんじゃみん ぶらうん/オーストラリア）

会場：あーすぷらざ２Ｆ プラザホールへお越しください

あーすフェスタかながわ２０１３

大好きなわたしの学校・わたしの教室
～外国につながるこどもたちの教室紹介～

わたしは教室の　〇〇が大好き！

わたしたちの教室では、自分のつながる
国の言葉や文化の勉強をするよ！

友だちいっぱい。
先生たちもやさしいよ！

どんな子たちが通っているの？

日本の学校とは違うの？

一体どんな勉強をしているのだろう？

展示

5月11日(土)
12日(日)
2階　アトリウム

発表

5月12日(日)
5階　映像ホール
10:30　開場
11:00～12:00

エスコーラ・アクアレラ・ブラジル
神奈川朝鮮学園　　横浜山手中華学校
ブリティッシュ・インターナショナル・スクール

参加団体：
外国人学校（エスコーラ・アクアレラ・ブラジル、
神奈川朝鮮学園、横浜山手中華学校、
ホライゾン・インターナショナル・スクール、ブリティッシュ・インターナショナル・スクール）
母語教室（すたんどばいみー、ラテンアメリカ青少年の会、信愛塾）

参加無料

あーすフェスタかながわ２０１３プレイベント

学習会：多文化共生を考える

～外国籍県民かながわ会議の提言を知り、あーすフェスタへ行こう～

外国籍県民の県政参加の推進などのために、1998 年 11 月に神奈川県が設置。1 期 2 年間検討し提言、第 7 期までに 93 提言を知事に提出しました。外国人すまいサポートセンターなどの施策化が実現しました。

提言した委員が、こどもの教育、労働の提言を紹介する学習会を

県内で 2 回開催します。一緒に多文化共生を考えましょう！

1 回目：2013年4月7日（日）　13：30～17：00　（定員80人）

相模原市桜美林大学 PFC　淵野辺駅（横浜線）から徒歩1分

かながわ国際政策推進懇話会会長 宮島喬氏のお話と委員による提言紹介

2 回目：2013年4月14日（日）　15：00～17：30　（定員40人）

川崎市国際交流センター　元住吉駅（東横線）から徒歩11分

外国人すまいサポートセンター理事長 裵安氏のお話と委員による提言紹介

申し込み：

メール（tabunka@earthplaza.jp）、電話（045-896-2896）

①日程、②名前、③電話番号、④メールアドレスをお知らせください。

折り返し、確認のメールをお送りします。

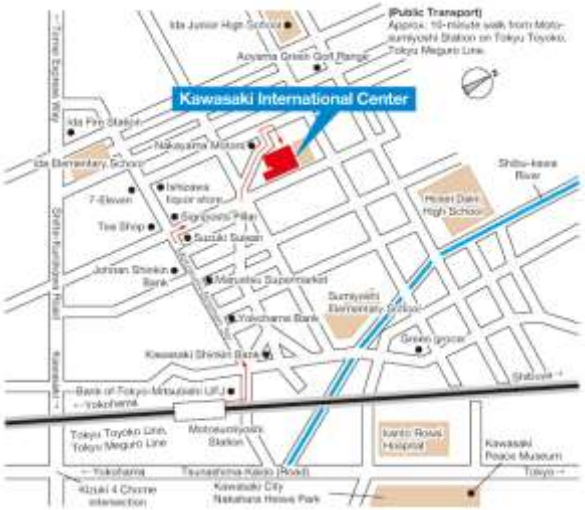
主催：あーすフェスタかながわ2013実行委員会

会場アクセス情報

1回目　4月7日　桜美林大学　PFC
（淵野辺駅）

ＰＦＣ　北口に隣接

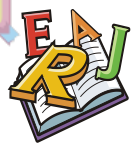
2回目　4月14日　川崎市国際交流センター
（元住吉駅）　http://www.kian.or.jp/kic/accessm.shtml



あーすフェスタ
かながわ2013
チラシ

4/20 Sat.

あーすフェスタかながわ 2013
２つのプレイベント



13:00～14:00

多言語絵本を楽しもう

えいご
にほんご
すぺいんご

いろんな国のことばと日本語で子ども向けのえほんをよみます

14:30～15:50

おすすめの1本映画紹介

ペルー　チャイナ　カメルーン　いっぽん
コリア
オーストラリア

いろんな国の方がおすすめの映画を紹介します。

みなさんの投票で、あーすフェスタで上映する映画がきまります！

あーすフェスタ 5/11(土)11:00上映！

場所：あーすぷらざ５Ｆ映像ホール

JR根岸線　本郷台駅から歩いて３分

主催：あーすフェスタかながわ 2013実行委員会

参加無料！

申込不要！

あーすフェスタかながわ2013ステージプログラム
Earth Festa Kanagawa 2013 Satge Program

『アコースティックステージ』

5/11

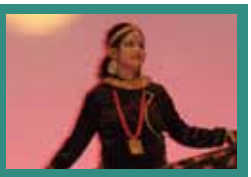
入場無料・入退場自由

会場 **リリスホール**
13:30開演
13:00開場

司会 **佐々木奈緒子**（ささき なおこ）

民族の音楽や踊りをじっくりと味わいながらその文化や違いを楽しむステージ

13:30〜13:50



ネパールダンス
ネパール舞踊

ネパールダンスは、2012年の春から始まりましたささやかなダンスグループです。ネパールとネパールの文化が大好きな日本の方々と代表者のエソダ・バスネットが、恵比寿のスタジオにてレッスンを行っております。このダンスグループは、特にネパールの女性が仲間で一緒に楽しむ民族舞踊を中心とした、フォークやポップダンスを練習しています。ネパールダンスの特徴は、楽しいところ、笑顔になれること、そして痩せることです。

13:50〜14:10

アンデス音楽グループ MACHUPICCHU
アンデス音楽

私たちは南米ペルーからやってきました。皆様に本場の音楽を聴いていただき楽しんでいただけたら、とても嬉しいです。

14:10〜14:30

アリソン・オパオン
フィリピンのオルタナティブ・ミュージック

フィリピン・ミンダナオ島出身。演劇や音楽を通してメッセージを伝える「カルチュラルワーカー」として活動。96 年から日本に拠点を移し、現在は在日フィリピン人の自助組織「KAFIN」横浜支部、最近では日本人と外国人がともに演劇をつくり、演じる「つるみ演劇 WAYWAY」でも活動中。

14:30〜14:50

栄区三曲協会（さかえくさんきょくきょうかい）
琴・尺八・三絃

栄区三曲協会は、日本の伝統文化である三曲（箏・尺八・三絃）で構成され、栄区の「春の文化祭」「秋の芸術祭」「定期演奏会」、栄区内の小学校での「箏体験教室」や区役所の「ミニコンサート」等、積極的に活動しています。

14:50〜15:10

神奈川朝鮮中高級学校（かながわちょうせんちゅうこうきゅうがっこう）
民族管弦楽部（みんぞくかんげんがくぶ）
朝鮮音楽

朝鮮特有の民族楽器であるカヤグムやヘグムを演奏しています。中学1年生から高校3年生までの 17 人が毎日一緒に練習しています。おもには朝鮮民族特有のリズムである長短（ チャンダン ）を使った朝鮮音楽を演奏しますが、演奏会などでは日本や外国の曲なども演奏します。舞踊部とならび、朝鮮学校にはなくてはならない部活です。

あーすフェスタ公式テーマソング
『世界をつなぐ奇跡』について

昨年のあーすフェスタかながわ 2012 において、あーすフェスタ公式テーマソング「世界をつなぐ奇跡」が完成しました。
会場の様々な場所でこの曲を耳にすることと思います。企画委員全員の思いが詰まったこの曲をぜひ覚えてください。

あーすフェスタ公式テーマソング
「世界をつなぐ奇跡」
作詞 刈川圭祐
作曲 tomoko

今ここに　集まった
それぞれの　宝物
人は皆　違うから
お互いを　愛せるの

巡り逢えた　この奇跡
私たちを包んで　優しい笑顔になる
あなたのこと教えて　私のこと教えよう
今世界がここで　繋がる

どんな場所で　生まれたの
どんな言葉　奏でるの
不思議だね　違うのに
似ていると　感じるの

巡り逢えた　この奇跡
70億の中で　小さく輝いている
言葉にできなくても　想いは伝わるから
今世界をここで　繋げよう

さあ行こう　手をつなぎ
いつまでも　私たちは友達
今世界をここで　繋げよう　繋がる

あーすフェスタかながわ2013ステージプログラム
Earth Festa Kanagawa 2013 Satge Program

5/12

入場無料・入退場自由

『親子でわくわくステージ』

会場 **リリスホール**

12:00開演　11:40開場

親子で一緒に世界の文化を体感してみませんか？みんなで歌おうバリのケチャ！！体験してみようインドネシアの影絵・ワヤン！！未就学児も参加ＯＫです。ワクワクするステージが待っています！

12:00～12:20

バロンゲンジェ ケチャ

声のガムラン「ケチャ」に挑戦しよう!「チャッチャッ」と声を出してみんなで一緒に踊ってみよう!

12:20～13:15

スミリール インドネシア影絵

「スミリール」は、インドネシアのジャワ島の音楽や舞踊を中心に活動しているグループです。「スミリール」というのはジャワ語で「そよ風」という意味です。グループの主宰はインドネシア人のスミヤント（Sumiyanto)。ジャワの伝統楽器ガムランの演奏者です。影絵芝居もさまざまなところで紹介しています。

『みんなでわいわいステージ～見ているだけじゃつまらない～』

会場 **プラザホール　14:00開演　13:40開場**　司会　**佐々木奈緒子（ささき　なおこ）**

アジア・アフリカ・中南米・・・。世界の国々の「音」「踊り」を体感するステージです！
あーすフェスタはみんなが主役。「観る」「聴く」だけでない、「皆のステージ」を一緒に作りましょう！

14:00～14:10

相州海老名東柏太鼓（そうしゅうえびなとうはくだいこ）

和太鼓

日本古来より受け継がれている和太鼓の世界。相州海老名東柏太鼓は1980年に発足以来、歴史と文化に育まれた郷土海老名を代表する伝統芸能として、青少年錬成の一環を兼ねながら日々精進を続けています。迫力ある大太鼓の勇壮華麗な響き、締太鼓のシンプルで繊細なリズムは、聴く人の魂をとらえます。2000年、海老名市郷土芸能奨励団体第一号として、市教育委員会から初の指定団体の認証を受けました。これを機に更なる飛躍を目指します。

14:10～14:35

バスンダリ

バリ舞踊

神奈川県湘南地区で活動するバリ舞踊グループ バスンダリ。バスンダリとは大地の女神の意味。元々、バリ舞踊はお寺で奉納として踊られ、日常の感謝と祈りを捧げています。今回は奉納舞「ルジャン」を優雅に踊り、バロンゲンジェによる声のガムラン「ケチャ」につなげます。「ケチャ」では会場のみなさまと一緒に声を「チャッチャッ」と出していただきます。

14:35～15:00

アバダカポエィラ

ブラジル武芸

カポエィラはブラジルの植民地時代にアフリカから連れて来られた奴隷達の文化が起源となり、その子孫達が作り上げたブラジルの格闘技です。その中には格闘技、音楽、ダンス等様々な要素が詰まっていて、どれにも定義することができない不思議な伝統武芸です。私達アバダカポエィラはブラジルのリオデジャネイロに本部を置くカポエィラ団体です。世界最大規模の団体の１つです。

15:00～15:10

神奈川朝鮮中高級学校（かながわちょうせんちゅうこうきゅうがっこう）舞踊部（ぶようぶ）

朝鮮舞踊

私たち舞踊部は、民族舞踊をこよなく愛する高1から高3までの9人からなる部活です。日本の地で生まれ育ちながらも、朝鮮舞踊を通じて民族の心を育み、たくさんの同胞や日本の方の前で舞踊を披露し、朝鮮舞踊の素晴らしさを広めています。多文化共生のために行われているあーすフェスタには毎年参加しており、その他にも日本学校の交流祭など活躍の場を広げています。

15:10～15:35

Duo Pao De Queijo

サンバ

ミルトン・ナシメントの故郷ミナス・ジェライス出身。思いやりや心の優しさがあふれているヒューマンな歌声で多くのファンを獲得している男性サンバ歌手　Marquinhos　RamosとSilvio Anastacioの二人組のサンバグループ。サンバのリズムにのってみなさん一緒に踊りましょう！

15:35～16:00

NPO 民団国際協力センター（みんだんこくさいきょうりょく）

サムルノリ

サムルノリの“サムル”は“四つの物”、“ノリ”は“遊び”という意味です。すなわち“サムルノリ”とは“四つの楽器で演奏する”という意味になります。この四つの物とは、韓国の代表的な伝統打楽器（チン、ケンガリ、チャンゴ、プク）を指し、これらの打楽器を使い、韓国に古くから伝わる伝統芸能“農楽”の代表的なリズムを奏でます。

16:00～16:25

Kaladjoula Sangoi

アフリカ音楽

西アフリカのマリ共和国出身のダラマン・ジャバテと、コートジボワール出身のイブラヒム・コナテのユニット。ダラマン・ジャバテはカイ地方に拠点を持つカソンケ民族のジェリ（グリオ）の家系に生まれ、幼少時よりンタマをはじめとする様々な楽器に親しむ。カソンケドゥンドゥンのスペシャリストとして、マリ国立民族舞踊団で活躍。2005年より日本に活動拠点を移し音楽活動を続けている。

16:25～16:35

横浜中華学校校友会（よこはまちゅうかがっこうこうゆうかい）国術団（こくじゅつだん）

中国獅子舞

横浜中華学校校友会国術団は「中国伝統文化の継承」を趣旨として、横浜山手中華学校の卒業生が結成している団体です。横浜山手中華学校には在学生による獅子舞や舞踊などの特別クラブがあります。幼稚園のころから校友会国術団の演技を見て憧れ、同団員の指導を受けながら練習に取り組んでおります。そして、学校を卒業すると同時に校友会国術団の一員として迎え入れられます。

フィナーレ　16:35～

スペシャルゲスト

tomoko

シンガーソングライター

あーすフェスタ公式テーマソング「世界をつなぐ奇跡」の作曲・アレンジを手掛けた、地元栄区出身の実力派シンガーソングライター。横浜、東京を拠点に音楽活動を展開し、その透き通るような歌声で多くのファンを得ている。

ワークショッププログラム

11日（土）

せかいのあそびば

11日（土） 11：00 ～ 16：00

場所：1階　大・中会議室

バンブーダンス

ユンノリ

★外国につながりを持つ子どもたちが遊びの説明をしながら一緒に楽しめるワークショップです。「違いを楽しむ」をテーマに同じ素材で違う遊び、同じ道具で違う遊びを紹介します。朝鮮韓国のユンノリなどのテーブルゲームからカラダを使って楽しむフィリピンのバンブーダンス、中国のチェンズ、ぬりえもあります。外国につながる中高生や大学生が紹介・指導します。

講師：共学舎、ヨコハマハギハッキョ、トレボル、県立相模原青陵高校多文化交流部、県立横浜清陵高校、横浜市立富士見中学国際教室、横浜市立港中学国際教室、たぶんかフリースクールよこはま、桜美林大学草の根国際交流プロジェクト、神奈川朝鮮中高級学校

せかいの音と踊り

11日（土）①11：00 ～ 12：00 チャンゴの響き

②15：00 ～ 16：30　ジャンベ

場所：1階　創作スタジオ

①韓国固有の伝統打楽器チャンゴは木の筒の両側に動物の皮を張った楽器で、民謡や舞踊の伴奏やバンソリ、また、単体での演奏など、様々な場面で使用されています。チャンゴを叩いて、韓国独特のリズムを体験してみましょう。

②西アフリカのマリ共和国出身のダラマン・ジャバテさん（マリ国立民族舞踊団）と一緒に、アフリカのリズムを体験してみましょう。

※スカートでの参加はご遠慮ください。

講師：①NPO 農楽教室
②ダラマン・ジャバテ、ミナコ・ジャバテ

せかいのこうさく
～いろんなものを作ってみよう

11日（土） 13：00 ～ 16：00

場所：1階　ワークショップルーム

★世界のともだちが学校で作る飾りや遊びなどを講師に教えてもらいながら作るコーナーです。11日は中国結びで、トンボを作ります。作ったものは記念に持ち帰りできます。ペーパークラフト「世界の家」の体験コーナーもあります。

講師：小泉真由美さん（台湾）

せかいを体験！

せかいのわらべうた

11日（土） ①11：30 ～ 11：45　②13：00 ～ 13：15
③14：00 ～ 14：15　④15：00 ～ 15：15

場所：1階　保育室

★親子日本語教室や地域の日本語教室に通う外国の方々を講師に迎え、いろいろな国の手遊び歌、数え歌、わらべうたなどを一緒に楽しみます。

講師：親子日本語教室等受講者のみなさん

ワークショップ プログラム

せかいを体験！

12日（日）

せかいのあそびば

12日(日)　10：00～16：00

場所：1階　大・中会議室　　★11日と同じ内容です。

ユンノリ

せかいのこうさく　～いろんなものを作ってみよう

12日(日)　13：00～16：00　場所：1階　ワークショップルーム

★世界のともだちが学校で作る飾りや遊びなどを講師に教えてもらいながら作るコーナーです。12 日はブラジルのお祭りの飾りや遊びを作ります。作ったものは記念に持ち帰りできます。ペーパークラフト「世界の家」の体験コーナーもあります。

講師：エスコーラ・アクアレラ・ブラジルのみなさん

せかいのスパイス

12日(日)　11：00～15：00　場所：1階　研修室B

参加費：200円（プレゼント付き）

★色々なスパイスの使い方や秘密を教えてもらって、オリジナルカレースパイス作りを体験しましょう。作ったスパイスは持ち帰りできます。

講師：ケーシーディネス(ネパール)

せかいの音と踊り

12日(日)　①11：00～11：45 カポエィラ

②13：00～14：00 せかいにニーハオ！

みんなで腰鼓をやってみよう

③15：00～15：45 癒しのバリ舞踊

場所：1階　創作スタジオ

①カポエィラとはブラジル発祥の格闘技。最大の特徴は楽器や歌が奏でる音楽にのって動くところです。みなさんも音楽が奏でるリズムにのって体を動かしましょう。

②「いきいきニーハオの会」は、中国帰国者を中心に結成されたグループです。腰鼓のほかに太極拳、健康体操などの活動をしています。中国のお祭りなどで叩きながら踊られる腰鼓(ヤオク)をみんなで楽しみましょう。

③インドネシア・バリ島の伝統舞踊体験、リラックス効果のあるガムランの調べに合わせて、指先や肩甲骨を細かく動かし踊りましょう。

※動きやすい服装でご参加ください。①②は動きやすい靴(または裸足)、③は裸足で踊ります。

講師：①アバダ・カポエィラ・神奈川支部
②いきいきニーハオの会　③バスンダリ

せかいのお茶

12日(日)　11：00～15：00

場所：1階　研修室A

参加費：200円(1種類)

★せかいのお茶では抹茶(日本)、八宝茶・高山茶(中国)、マテ茶（アルゼンチン・ブラジル・パラグアイ）をご提供します。

■抹茶

抹茶はお茶の葉を蒸してから乾燥させたものを臼でひいたもので茶、香りとお茶本来の旨味を味わえ、お茶に含まれる栄養素もそのままとることができる飲み方です。

■八宝茶・高山茶

八宝茶とは、茶葉以外にも沢山の材料(主に生薬)が入ったお茶。美味しく飲みながら美容・健康にもよいお茶です。

高山茶は高い山で作られたお茶です。標高の高い環境で育てられたお茶は香りがよく、鼻から抜けるミルキーな香りが特徴です。

■マテ茶

今回はコシードという、ミルクと砂糖を入れて楽しむパラグアイ独特の飲みかたをご紹介します。

講師：ともしびカフェ ポエム '10(中国)、座間総合高校国際科(パラグアイ)、栄区文化協会国際交流(日本)

EARTH FESTA KANAGAWA 2013

みんなで育てる多文化共生

アフリカについて学ぶ！

神奈川県の友好都市について知る！

交流・展示プログラム

場所：２Ｆリリスギャラリー

いろいろな国のたこを見る！

いろいろな民族楽器にふれる！

民族衣装を着てみる！

世界一周の船旅映像
世界の絵はがきを見る！

フェスタ期間 終日展示中

※イラストはイメージです

あーすフェスタ発（はっ）！！　Cinema Collection

シネマコレクション

入場無料（にゅうじょうむりょう）

おじいさんと草原（そうげん）の小学校（しょうがっこう）

まだ、終（お）わりじゃない。

マルゲの夢（ゆめ）は、学校（がっこう）に行（い）くこと。
学（まな）びたい――――
強（つよ）い気持（きも）ちが奇蹟（きせき）を起（おこ）こす。
ケニア独立（どくりつ）のために戦（たたか）った日々（ひび）、
その過去（かこ）を乗（の）りこえ、未来（みらい）を変（か）えた
「84歳（さい）の小学生（しょうがくせい）」の、これは真実（しんじつ）の物語（ものがたり）。

(C)2009 British Broadcasting Corporation, UK Film Council and First Grader Productions Limited.　All Rights Reserved.　＊PG12 指定

2010 年／イギリス映画／103 分／監督：ジャスティン・チャドウィック／脚本：アン・ピーコック／出演：ナオミ・ハリス、オリヴァー・リトンド、トニー・キコロギ

【ロンドン映画祭 2010 公式出品／ドーハ・トライベッカ映画祭 2010 観客賞受賞／トロント国際映画祭 2010 観客賞・次点】

5月（がつ）11日（にち）（土（ど））　11:00～12:50

あーすぷらざ 5F 映像（えいぞう）ホール（会場（かいじょう）10:45）

先着（せんちゃく）120名（めい）　（申込（もうしこ）み不要（ふよう））

主催（しゅさい）：あーすフェスタかながわ２０１３実行委員会（じっこういいんかい）

あーすフェスタ発！！ Cinema Collection

シネマコレクション

入場無料

© 2009 TOROCCO LLP

2009年日本映画／上映時間：116分

台北金馬奨映画祭正式招待作品／ムンバイ映画祭インターナショナル・コンペティション部門出品／文部科学省選定（青年、成人、家族向き）

主演：尾野真千子、ホン・リウ　撮影：リー・ピンビン（ノルウェイの森(2010)撮影）　音楽：川井郁子

もっと家族になろう。東京と台湾の小さな村をつなぐ路線ー トロッコ

お父さんが死んだその夏、
少年とその家族は、
お父さんの故郷・台湾に初めてやってきた。
おじいちゃんと過ごした、
宝石のように輝く夏の物語。

原作は芥川龍之介の「トロッコ」。台湾の村に残る日本統治時代の記憶と台湾人の父と日本人の母を持つ少年の揺れるアイデンティティーを描きながら、雄大な台湾の自然のもと、それぞれが失いかけていた家族の絆を取り戻していく姿が印象的な作品です。

5月12日（日）

映画上映　：13:15～15:15
監督講演　：15:15～15:45

あーすぷらざ 5F 映像ホール（開場13:00）　先着120名（申込み不要）

主催：あーすフェスタかながわ2013実行委員会

あーすフェスタかながわ 2013
屋外マップ

みんなで食べよう！

世界屋台村

sekai yatai mura

この度はご来場いただきありがとうございます。ご使用いただきましたリサイクル容器は、リサイクル容器回収所にご持参いただくようご協力よろしくお願いします。回収場所は裏面のマップをご持参ください。
★マイ箸・マイバック大歓迎です！

1 株式会社タヒチプロモーション

- タヒチアンバニーニ
- タヒチアン甘いバニーニ
- タヒチアン ガーリックシュリンプ
- タヒチアンカレー
- HINANOビール

美味しいフードはどこか南国リゾートの雰囲気が漂います。「HINANO ビール」は、かわいいデザインで大人気です。

2 チニーズ

- ベルプリ●ラッシー
- チャイ●スパイス類
- インド食材

インド系のスパイスや雑貨を扱っています。ブースにあそびに来て下さいね。

3 大船チャンプル

- 沖縄そば●スパム串
- オリジナルカレー
- オリオンビール●泡盛
- さんぴん茶
- ルートビア●ラムネ

※イメージ画像になります

はいさい！！ 沖縄そばとスパム串、スパイスたっぷりのカレーでお待ちしています。オリオンビールと泡盛も用意してるさー。

4 ブラジル移民支援グループイン神奈川

- ブラジルパステル
- ブラジルコロッケ
- ブラジルソーセージ
- ブラジルドリンク
- チュロス●串焼き

ブラジルのコロッケは中身の種類により型がユニークです。そしておいしいです。是非御賞味ください。

5 JUMPA 横浜 NPO 国際交流会

- ナシゴレン
- ミゴレン
- サテ・アヤム
- フルーツティー

※イメージ画像になります

インドネシアの代表的な家庭料理を提供し、食文化を紹介。また写真等でインドネシアの文化を紹介します。

6 株式会社メルヘン

- クレープ（アメリカンタイプ）
- フライドチキン
- やきそば
- フライドポテト
- 生ビール

※イメージ画像になります

横浜市内に8店のレストランを展開。カレーライス、ハンバーグ等の洋食を中心としたメニューで、幅広い年齢層のお客様から人気です！

7a 本場ペルシャ料理　クーチェ

- シシカバブ
- ジュジェカバブ
- カバブバレ
- 飲物

※イメージ画像になります

サフランと玉ねぎに漬け込んだ風味豊かな本場ペルシャの味を是非お楽しみ下さい。

7b ラテン文化センター

- パエリア
- カルツォーネ
- チュロス
- チョリソ
- ビール●サングリア
- 缶ジュース

※イメージ画像になります

日本在住の外国籍がより良い環境で生活するためのサポートや、日本語教室の開催をしています。

8 横浜コンスタンツァ友好委員会

- ワイン（ルーマニア直輸入ワイン）ボトル販売及び
- グラスワイン

横浜の姉妹都市コンスタンツァを擁するルーマニアの代表的な産業はワイン造りです。ワインを通してルーマニアの紹介、コンスタンツァ市との交流促進をしています。

9 かながわベトナム親善協会

- ベトナム揚げ春巻き
- ベトナム米うどん（フォー）

※イメージ画像になります

ベトナム手作り家庭料理の提供。揚げ春巻き、フォーなど

10 （特活）地球市民 ACT かながわ /TPAK

- タイラーメン

※イメージ画像になります

毎年大好評のタイラーメンを出店します。完売必至！お早めにお求めください。

11a （特活）多言語社会リソースかながわ

- 台湾魯肉飯
- タイのえびせんべい
- タピオカミルクティー
- チェプチェロール
- フィリピン揚げバナナ

～ことばでささえる　いのちとくらし～日本で暮らす外国人が、安心して医療を受けられるよう支援活動を行っています。

11b （特活）地球の木

- 海鮮ちぢみ

在日で韓国料理店をやっている方がオリジナルで冷えてもおいしく食べられるレシピを考案しました。

12 在日韓国青年会

- 韓国のドリンク
- カルビヤチェポックム

※イメージ画像になります

焼肉のカルビを野菜とあえて炒め、B級グルメにしました。是非本場の味を体験してみて下さい。

13 （特活）ASIAN PEOPLE'S FRIENDSHIP SOCIETY

- チキンココナッツトルカリ
- シシケバブ
- タンドリーチキン
- シンガラ
- パコラ●ラッシー
- チャイ●ビール

※イメージ画像になります

アツアツのカレー＆ナンをはじめバングラデシュ料理を通じて皆様と交流したいと思います。

14 クントゥル　ラテンアメリカ カルチャー　プラン

- タコス●ビーフタコス
- チョリソ●ブリート
- アンティクーチョ

※イメージ画像になります

ラテンアメリカの文化を楽しんで下さい。明るい音楽・楽しい踊りそしておいしいお料理と共に。

15 アジア料理の会

- タイカレー
- ガパオガイ
- タンドリチキン
- トートマンプラ
- 生ビール

※イメージ画像になります

料理を通して、外国籍の人達との交流を深めています。

16 クメールボランティア協会

- カンボジアのラーメン
- 焼きトウモロコシ
- カンボジア風のオムレツ
- 串焼肉●カンボジア「アンコールビール」
- ココナッツジュース

※イメージ画像になります

これぞカンボジア料理！調味料や作り方がカンボジア独自のものです。一度食べたらもう一度食べたくなりますよ！

17 エスクエラ・デ・エスパニョール

- チョリソ
- チキンソテー
- ビーフソテー
- タマレス
- エンパナダ

※イメージ画像になります

エスクエラ・デ・エスパニョールのママたちが心をこめて作ったおいしい料理をたっぷり楽しんで下さい。

18 在日本朝鮮青年同盟　湘南西湘支部

- 牛すじスープ
- ビビン丼
- チジミ
- マッコリ

※イメージ画像になります

日本に暮らす朝鮮青年達のネットワーク作りのための各種イベントや学習会、サークル活動を行っています。

19 RYUTA-COS KITCHEN

- ファフィータ
- メキシカンバーベキュー
- チリコンカン
- コロナビール
- ご飯

メキシコ料理のファフィータ、メキシカンバーベキューをメインにしたメニューを提供致します。

20 在日本ラオス協会

- ラオスの「揚げ春巻き」
- クワミー（ラオスの「やきそば」）
- カオプーン（ラオスそうめん）
- 「ビアラオ」（ラオスのビール）
- ココナッツジュース

※イメージ画像になります

これぞラオス料理！一番おすすめは「揚げ春巻き」です。ラオス独特の味です。一度食べたらもう一度食べたくなりますよ！

21a インドネシア人家族の会

- ルンピア●ココット
- ナシゴレン
- インドネシアのカレー
- タフィシ油げ豆腐
- ピサンゴレン揚げバナナ

※イメージ画像になります

本日はジャワ島の料理を紹介します。また、インドネシアの“屋台”のイメージを伝えたい！

21b 在日大韓民国婦人会 神奈川県湘南西部支部

- チヂミ
- トッポッキ
- タッカルビ
- チャプチェ
- ホットック

ボランティアや交流会で、料理や韓国語を教えたり、イベントに参加したりしています。韓国家庭料理を通して食文化をもっと親密にしていきたいです。

22 ISGAHE PORKHORI

- 串ケバブ●ソーセージ
- 揚げ物●串焼
- ドリンク

※イメージ画像になります

食べ物を通じて国の文化を紹介します。

23a HAYA-HAY

- カレー●ナン
- タンドリーチキン
- イエティのおやつ

※イメージ画像になります

HAYA-HAY がハンディング！世界中の素敵、わくわく体験！今年は本物ネパール料理の紹介です。

23b 青年海外協力隊神奈川県 OB 会（KOCV）

- プレーヤッサ
- コーヒー

アフリカ開発会議（TICAD）応援企画として、西アフリカ料理を出します。レモンやハーブ類の味付の鶏肉料理です。

ワールドバザール出展一覧

1 アンデス・アルテ

南米ペルー直輸入のフェアトレード雑貨店です。カラフルで楽しい手作り雑貨をご紹介。

ペルー

ひょうたん細工・オカリナ・民族楽器・指人形・子供服・雑貨

2 アジアの女性と子どもネットワーク

就学支援を中心に、学校建設、給食支援、AIDS孤児支援、子どもの人身売買に反対する活動をしています。

タ　イ

活動紹介パネル・手工芸品・フェアトレード品

3 UN Women よこはま

男女平等、女性のエンパワメント、女性に対する暴力を無くすことを目的としています。

スカーフ・バッグ・アクセサリー・絵葉書・紅茶・塩 etc.

4 （特活）地球の木

現地の暮らしや伝統・文化を尊重し「手仕事」のぬくもりを、日本の人々に届けます。

ラオス・カンボジア

手刺しゅう小物・手織りのショール・パスケース・BC バンブ

5 （特活）ビラーンの医療と自立を支える会

豊かだった森で育まれた伝統技能を継ぐ先住民族の手仕事紹介と販売です。

フィリピン

活動の展示・草木染・手織物の小物やバッグ・手作りビーズ製品 etc.

6 アマゾンカムカム・ヨコハマ

カムカムの栽培指導し、販売するとこで農民の平和で豊かな暮らしのために貢献します。

ペルー

衣料品・雑貨・カムカム飲料 etc.

7 チャンドニー

インド・ネパール製品の販売をしています。

インド・ネパール

ハンカチ・バンダナ・ストール・ワンピース・ブラウス・スカート etc

8 アリス

お手軽な物から高級感あふれるターコイズジュエリーもあります。ぜひ見に来てください。

インディアンジュエリー・アメリカ雑貨・C D

9 合資会社オフィス五タラント

アフリカ・マラウイ共和国産のマンゴーの花からとれたはちみつです。このはちみつで生活が向上し多くの子供たちが中等学校に進学できました。

マラウィ

マラウイハニー

10 スリランカ雑貨のラクリヤ

ラクリヤとは「スリランカの女性」という意味。スリランカ雑貨専門ショップです。

スリランカ

サリー雑貨・コットン製品・キッチン雑貨・カレーキット・紅茶・ビスケット etc.

11 ソープカービング教室

ソープカービングはタイの伝統工芸で、ナイフ１本でオリジナルの繊細で美しく、華やかな作品を作ることができます。

タ　イ

ソープカービング体験教室￥300
（作った作品はお持ち帰りできます）

12 ウニク　デ　ペルー

南米ペルーの色あざやかなアクセサリーなどを販売しています。伝統的な模様、ナスカの絵も入っています。

ペルー

ネックレス・ブレスレット・キーホルダー・小さな財布・化粧水・口紅・クリーム

13 ANAN'S キッチン

東北支援商品「女川カレー」を販売。スパイスの達人アナン・メタ氏が考案した「おいしくなる香辛料」を紹介。

女川カレー・カレー粉・「おいしくなる香辛料」etc.

14 ケーナ

オーガニックコットンやアルパカ製品を直輸入。地球、環境に優しい製品の普及に努めてます。

ペルー

オーガニックコットン・手作りファッショングッズ・帽子

15 アンデス音楽グループ MACHUPICCHU

私たちは南米ペルーの出身です。心あたたまる民族音楽に耳をかたむけてみて下さい。

ペルー

民族音楽の CD・民族楽器・民芸品

16 BORDER JAPAN

ボード上で小さな円盤を指ではじいて四隅の穴に入れるゲーム「ケランボード」で遊ぼう！

バングラディシュ

「ケランボード」のミニゲーム体験・販売 (3 台)

17 インドシナクラブ（印度支那倶楽部）

アジア辺境部、山岳少数民族及び農村部の手織物衣料・生活道具の紹介をします。

タイ・ラオス・カンボジア

手織り絹布・染布・木綿衣料・木工製品 etc.

18 イエティコット

ネパールのフェアトレード団体 WSDO の綿製品を紹介しています。ネット販売中。

ネパール

ペンケース・小銭入れ・ポシェット・バック類・活動紹介パネル

19 LOS ANDES

各種手作り品のフェアトレード！色柄が控え目な、美しい雑貨と各種衣料品が好評です。

エクアドル

手作り雑貨・衣料品

20 チニーズ

インド系スパイスや雑貨を扱っています。普段買えない様な雑貨や食べ物を販売します。

インド

アクセサリー・雑貨・衣類・D V D

21 あめ細工工房

日本の伝統芸能・あめ細工です。和バサミ一本でキャラクター、動物等を作ります。

日　本

あめ細工

22 （特活）JUNKO Association

明治学院大学の学生が主体となって活動しています。ベトナムとミャンマーの子どもたちの教育支援や教育交流を行っています。

ストール・ペンケース・アクセサリー

23 神奈川県ユニセフ協会

世界の子どもたちの状況と、ユニセフの活動を写真パネルにて報告します。また、ユニセフ・カード＆ギフトを頒布いたします。

写真展示ほか

24 HAYA-HAY

世界の素敵にわくわく！様々な文化と人々の誇りを身にまとってみませんか。

フィリピン・ベトナム

小麦粉袋プロダクツ・伝統織り・世界の種アクセサリ etc.

25 （特活）イーグル・アフガン復興協会

アフガニスタンの女性・子どもに対する支援活動や、現状を紹介する活動をしています。

アフガニスタン

音楽ＣＤ・アフガニスタン紹介文・民話・子供の写真

26 （特活）ふれんどしっぷ ASIA

フィリピン・ネグロス島の貧困者、タイ山岳民族、タイ日国際児への活動支援・交流をしています。

フィリピン・タイ

手作り雑貨・有機無農薬栽培コーヒー

27 ババ・アフリカ

現地作家の作品は洗練された色使い、遊び心のあるデザインが特徴です。アフリカの多面性や新たな魅力を再発見して下さい。

アフリカ

絵画・アートフレーム・アクセサリー・衣服

28 ヘナボディアート MEW

天然染料ヘナをペースト状にし、肌にフリーハンドで美しい模様を描いていきます。魔除け・幸運を呼ぶと言われます。（1～２週間以内で消えます）

インド・パキスタン

ヘナボディーアートの体験・ヘナアート雑貨・ミサンガ

29 PRAJ 神奈川支部

仮放免者の話を聞きませんか？
様々な事情から帰国を拒否する仮放免者は働くことも許されません・・・。

団体の歴史・ニュース・新聞等の展示・難民映像の紹介

30 (株) タヒチプロモーション

南太平洋の楽園

タヒチ

モノイオイル・ミュージック CD・タオル・パレオ・T シャツ・雑貨

31 チーム ピース チャレンジャー大和支部

貧困地域の女性や子たちに、その地域独持の文化を生かした手作り品の作成指導をしています。お買い物で国際支援をしませんか？

インド・バングラディシュ・ネパール

ミサンガ・ネックレス・バッグ・エプロン・ショール・ドレス・T シャツ・コーヒー・紅茶 etc.

32 カンボジア母国語を保証する会

現地貧困センターの女性が就職・自立できるよう、運営支援をしています。

カンボジア

民芸品・シルク・スカーフ・カバン・財布・ミサンガ

33 かながわベトナム親善協会

ベトナム伝統文化・風習の紹介。ベトナム伝統の手作り雑貨や民芸品の展示・即売。

ベトナム

手作り雑貨・民芸品 etc.

34 （特活）地球市民 ACT かながわ /TPAK

アジアの子どもと女性の支援・岩手県釜石市の保育園の支援を行っています。

タイ・ミャンマー・インド

草木染＆ビーズフェアトレード製品・手工芸品・雑貨

35 コポトッコ バングラデシュ

洪水被災地における女性や子供達を応援しています。売上は彼女達の生活費及び子供達の学費になります。

バングラディシュ

手織の小物・バッグ・ベビー服・民族衣装・アクセサリー

36 NPO 法人 日ロ文化交流ｾﾝﾀｰ

神奈川県内を中心に活動。
隣国ロシアに興味のある方、気軽に声を掛けて下さい。

ロシア

民芸品販売・活動の展示